TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

32A1S

操作編

:：最初に別冊の「準備編」をお読みください。
:：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
:：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ

接続機器の映像・音声を楽しむ(レグザリンク)　34

映像・音声を調整する　39

困ったときは　48

その他 57

テレビの楽しみかた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
ときどき目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

この取扱説明書内のマークの見かた

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語の説明をしています。(分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります)

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

本機の特長

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。（本機は車両や船舶などに搭載しての使用を意図していません）携帯電話などで受信できる部分受信サービス（ワンセグ）は、受信できません。

おまかせ映像機能

●周囲の明るさと見ている映像の情報を本機が判断し、常に見やすい画質に自動調整します。39
お好みに合わせて調整することもできます。
●リモコンのおまかせ映像ボタンを押せば、すばやく映像メニューを切り換えたり、画面の明るさを調整したりすることができます。

レグザリンク搭載

●本機と東芝製のHDMI連動機能対応機器（レコーダー、パソコンなど）や東芝推奨のHDMI連動機能対応のオーディオ機器をHDMIケーブルで接続し、本機のリモコンで基本操作することができます。35
※HDMI連動機能を使うには、本機と接続機器それぞれで設定が必要です。

番組表機能を搭載

●7チャンネル6時間分の番組表を一度に表示し、見たい番組を探したり、視聴予約をしたりすることができます。（7チャンネル/6チャンネル、6時間/4時間の表示切換可能）14 30
●レグザリンク対応の東芝レコーダーに、本機の操作で録画予約をすることができます。30
●ミニ番組表を使って、テレビ番組を見ながら他の番組をチェックすることができます。15

オンタイマー搭載

●設定した時刻に、設定されたチャンネルと音量で、自動的に本機の電源を入れることができます。26
※オンタイマー機能は、デジタル放送から本機が取得した時刻情報をもとに動作します。

各部のなまえ

● 詳しくは［☞］内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

前面

左側面

ヘッドホーン端子
• ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
モノラルイヤホーンを接続した場合は、左音声だけが聞こえます。

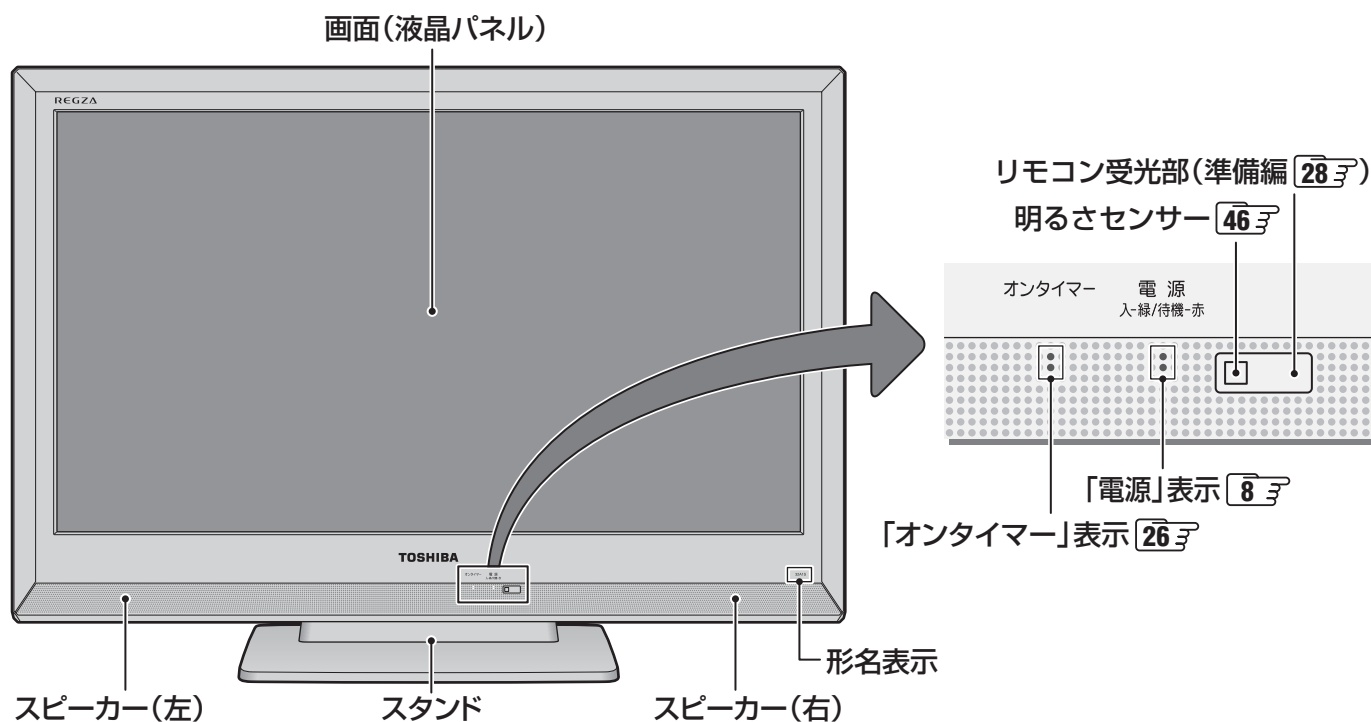
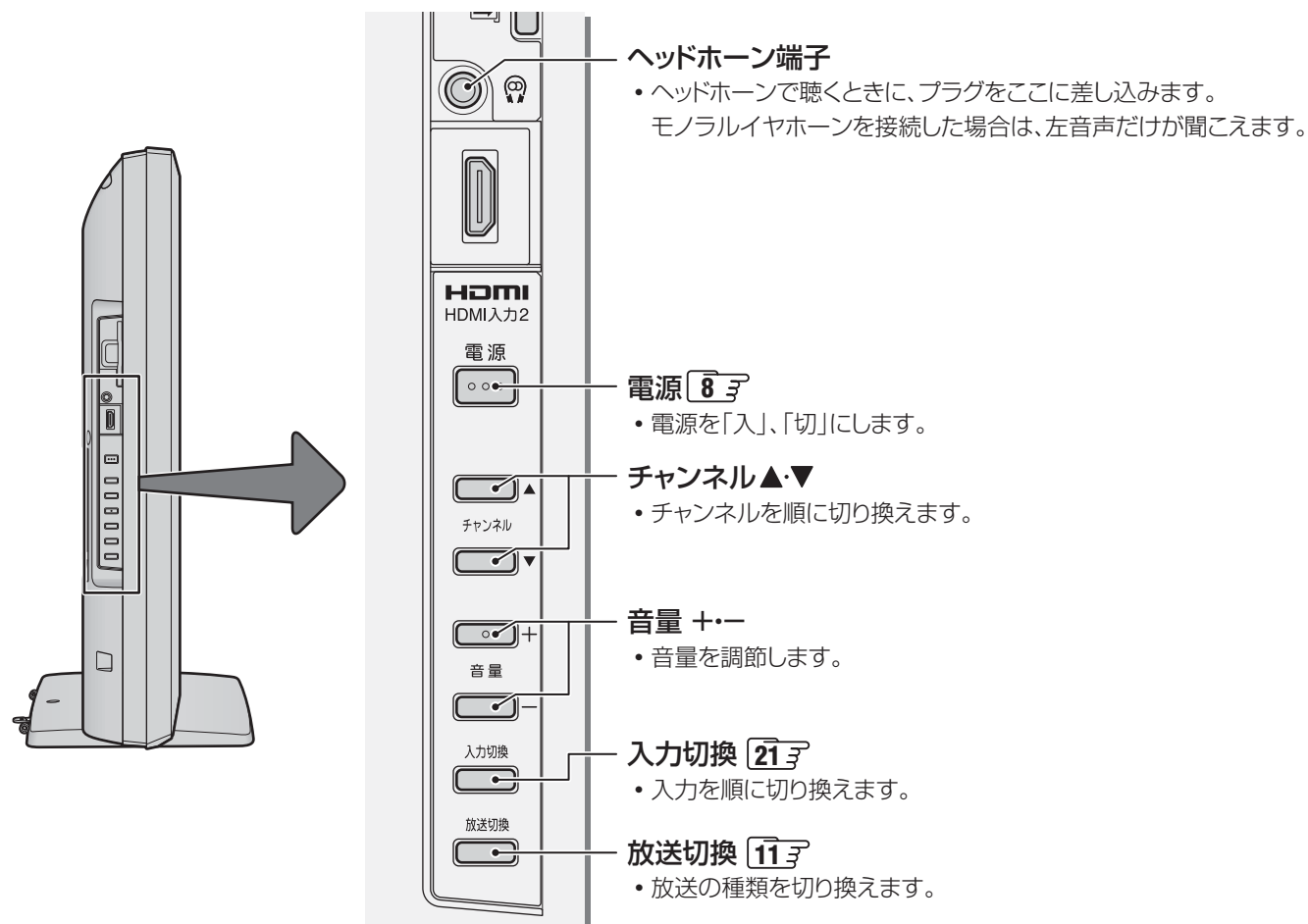
HDMI
HDMI入力2

電源 8☞
• 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル▲·▼
• チャンネルを順に切り換えます。

音量 +·−
• 音量を調節します。

入力切換 21☞
• 入力を順に切り換えます。

放送切換 11☞
• 放送の種類を切り換えます。

リモコン操作ボタンガイド

●詳しくは ☞ 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

●電源入/待機 .... 8☞
●BDやDVDなどを見る .... 21☞
●放送の種類を切り換える .... 11☞
●チャンネルを選ぶ .... 11☞
●文字を入力する .... 20☞
●チャンネルを順番に選ぶ .... 11☞
●番組情報を見る .... 12☞
●音を消す .... 11☞
●クイックメニューを使う .... 9☞
●音量を調節する .... 11☞
●レグザリンクメニューを表示させる .... 10☞
●番組表を見る .... 14☞
●メニューから選ぶ、決定する
●メニュー操作で一つ前の画面に戻る
●メニュー操作を中断・終了する
●カラーボタン .... 多様な機能があります。
●データ放送を見る .... 13☞
●映像を静止させる .... 27☞
●映像メニューを切り換える .... 39☞
●音声を切り換える .... 24☞

入力切換
電源
地アナ
地デジ
BS
CS
あ
1
か ABC
2
さ DEF
3
た GHI
4
な JKL
5
は MNO
6
ま PQRS
7
や TUV
8
ら WXYZ
9
小文字
10
0
わをん
11
＊
12
#
チャンネル
画面表示
消音
設定
クイック
＋
音量
－
レグザリンク
番組表
決定
戻る
終了
青
赤
緑
黄
dデータ
静止
おまかせ映像
音声切換
TOSHIBA
デジタルテレビ
CT-90320A

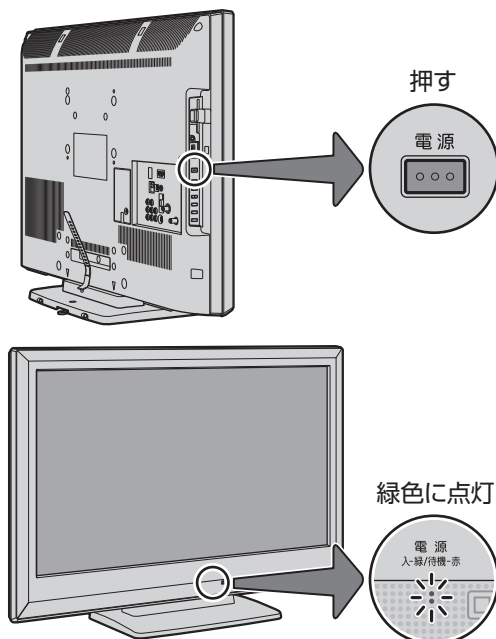
基本操作

電源を入れる

「電源」表示が消えているとき（「切」のとき）

「電源」表示が消えているとき、リモコン操作はできません。

❶ 本体左側面の電源を押す

● 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

「電源」表示が赤色に点灯しているとき（「待機」のとき）

❶ リモコンの電源◯を押す

● 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

電源を待機にする／切る

電源を待機にする

❶ リモコンの電源◯を押す

● 電源が「待機」（リモコン操作待受状態）になり、「電源」表示が赤色に点灯します。

● リモコンで電源を入れることができます。（ほかのリモコン操作はできません）

電源を切る

❶「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体左側面の電源を押す

● 電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。

※ リモコンでの操作ができなくなります。

メニュー操作手順の表記について

● クイックメニューや設定メニューの操作手順については、以下の例のように一部を簡略化して記載しています。

● 操作が終わったときにメニューを消す手順を省略しています。

例

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定を押す

4 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

5 終わったら、終了を押す

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

2 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

● 操作が終わったときに表示されているメニュー画面や確認画面を消すときには、終了を押してください。

クイックメニューについて

- クイックを押してクイックメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- クイックメニューの内容は、クイックを押すときの場面によって変わります。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

クイックメニュー

クイックメニュー	機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
番組説明	番組説明を見ることができます。	12
ミニ番組表	テレビ番組を楽しみながら、小さな番組表で他の番組を探すことができます。	15
タイマー機能	タイマー機能を使って電源を切ったり入れたりすることができます。	26
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	22
映像設定	お好みの映像メニューを選んだり、お好みの映像に調整したりすることができます。	39～46
音声設定	お好みの音声に調整することができます。	47
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに、内容を確認します。	59
その他の操作		
設定	「機能設定」、「レグザリンク設定」、「初期設定」をするときに選びます。	準備編

その他の操作

その他の操作	機　能	詳細記載ページ
信号切換		
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	11
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認することができます。	準備編 33
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	13
テレビ/ラジオ/データ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	13

信号切換

信号切換	機　能	詳細記載ページ
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	25
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	25
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	25
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	25
字幕切換	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	11
降雨対応放送切換	豪雨などのときに降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	25

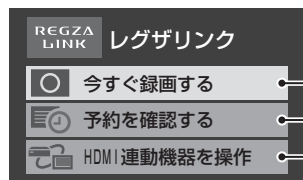
例 番組表を表示中

クイックメニュー	機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
番組情報の取得	番組表の情報を更新します。	16
1チャンネル表示	放送局ごとの1チャンネル表示とマルチチャンネル表示を切り換えます。	16
文字サイズ変更	番組表の文字サイズを変更することができます。	15
ジャンル色分け	番組のジャンル（分野）の色分けを設定することができます。	15
番組記号一覧	番組記号の一覧を表示させて、説明を見ることができます。	16
番組表表示設定	番組表のさまざまな表示のしかたを設定することができます。	17
テレビ/ラジオ/データ切換	番組表の放送メディアを切り換えます。	16

基本操作 つづき

レグザリンクメニューについて

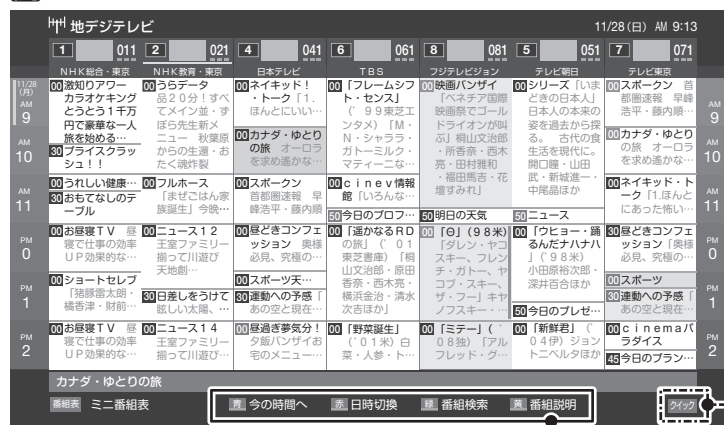
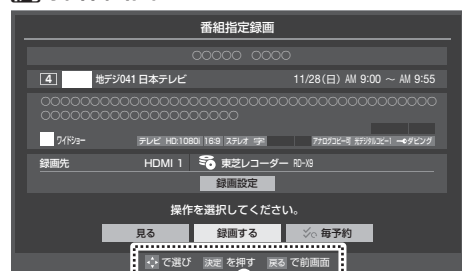
● レグザリンクメニューで、東芝レコーダーでの録画、予約の確認、HDMI連動機器の基本操作などができます。

REGZA LINK レグザリンク
- 今すぐ録画する
- 予約を確認する
- HDMI連動機器を操作

機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
本機に接続した東芝レコーダーに、見ている番組を録画する	29
視聴予約の内容確認と取消しをする	33
本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をする	35
音声連動対応のオーディオ機器で音声連携メニューを設定する	38

操作ガイドについて

● 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
● よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)や クイック に割り当てられています。

例 番組表

地デジテレビ 11/28(日) AM 9:13
カナダ・ゆとりの旅
番組表 ミニ番組表　青 今の時間へ　赤 日時切換　緑 番組検索　黄 番組説明　クイック

クイック の表示
クイックメニューがあることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

例 操作画面

番組指定録画
録画先 HDMI 1 東芝レコーダー RD-X8
録画設定
操作を選択してください。
見る　録画する　毎予約
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。

テレビ番組を楽しむ

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS、地アナで放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
- 本体左側面の放送切換でも放送の種類が切り換えられます。放送切換を押すたびに、放送の種類が順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の3とおりの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン1～12で選局します。（下の「お知らせ」をご覧ください）

チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

- チャンネル∧∨または本体左側面のチャンネル▲▼でチャンネルが順に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する

- デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。
- デジタル放送のチャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ クイックを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「チャンネル番号入力」と進む

- 視聴中の放送の種類に応じて、画面の右上に、地デジ---、BS---、CS---のどれかが表示されます。

❷ 1～10(0)でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨1 10(0) 3の順に押す。（「0」は10で入力）

- 入力した番号を消すには、◀を押します。

■枝番のついた放送一覧が表示されたとき

- ▲·▼で選んで決定を押すか、10(0)～9で枝番を指定して選びます。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの音量＋－または本体左側面の音量＋－を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの消音を押す

- 画面右下に 消 音 が表示されます。もう一度消音を押せば音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える（デジタル放送のみ）

❶ クイックを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「字幕切換」と進む

❷ ▲·▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、決定を押す

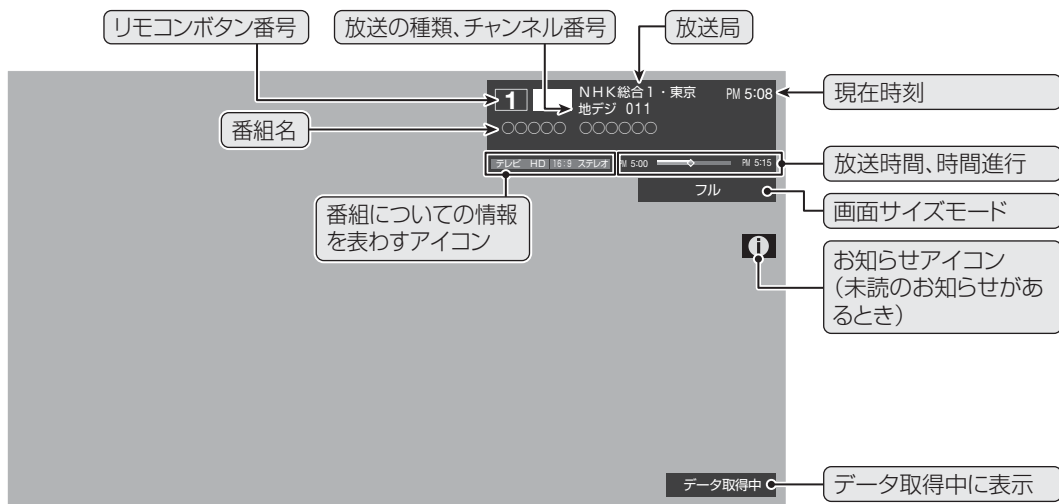
- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 14 で確認することができます。
- 1～12でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。地デジ難視対策衛星放送のワンタッチ選局ができるようにするなど、設定をお好みに変更する場合は、「チャンネルをお好みに手動で設定する」（準備編 38 ～ 39）の操作をしてください。
  - 地デジ、地アナを押したとき→「はじめての設定」（準備編 29）で各ボタンに登録されたチャンネル
  - BSを押したとき→BSデジタル放送の各チャンネル
  - CSを押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（1と2のみ）
  - ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルが順番に選べます。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。（番号順にならない場合があります）
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した（準備編 62）直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 本機はペイ・パー・ビュー放送（PPV放送：番組単位で料金を支払う放送）には対応していません。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

● 地上アナログ放送では一部の表示だけになります。

1 画面表示 を押す

● 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）
● すべての表示を消すには、画面表示をもう一度押します。
● 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

● 地上アナログ放送ではこの機能はありません。

1 クイック を押し、▲·▼で「番組説明」を選んで 決定 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

● 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
● 情報が取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す

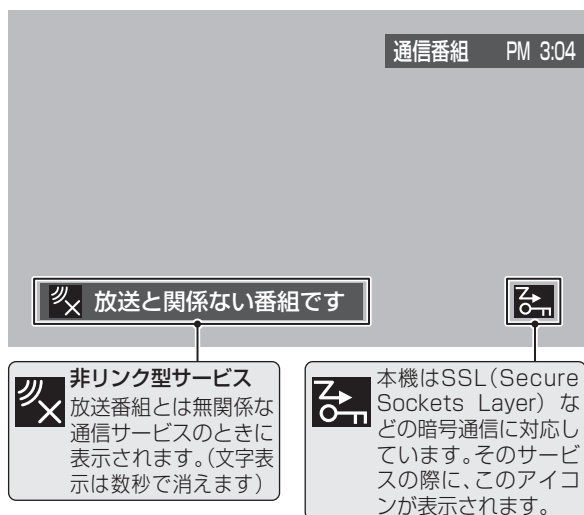
● 画面に表示されるアイコン（ステレオ、HD:1080i などの記号）についての説明は、「アイコン一覧」64 をご覧ください。
● 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
● 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
● 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

データ放送を楽しむ

データ放送について

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
● データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

● インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオ放送について

● 2010年11月現在、ラジオ放送は運用されておりません。
● ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

● 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
● テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **［dデータ］を押す**
● 番組によっては押す必要がない場合があります。
● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

2 **データ放送を終了するには、以下の操作をする**
❶ **［クイック］を押し、▲・▼と（決定）で「その他の操作」⇨「データ放送終了」の順に進む**

独立データ放送を楽しむ

● BSデジタル放送などで行われている独立データ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 **放送の種類を選ぶ**
● BSデジタルの独立データ放送を視聴する場合は、［BS］を押します。

2 **［クイック］を押し、▲・▼と（決定）で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む**

3 **▲・▼で「データ」を選び、（決定）を押す**
● ［チャンネル］で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
● データ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

● 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
● 放送画面の操作説明などで、［dデータ］は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

■ 双方向サービスについて
● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(準備編 54)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
● 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
● 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

見たい番組を探す

見たい番組を番組表で探す

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- 地上アナログ放送などの番組表は表示されません。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSのどれかを押します。
- データ放送の番組表に切り換えるときは、クイックを押し、「テレビ/ラジオ/データ切換」から「データ」を選びます。

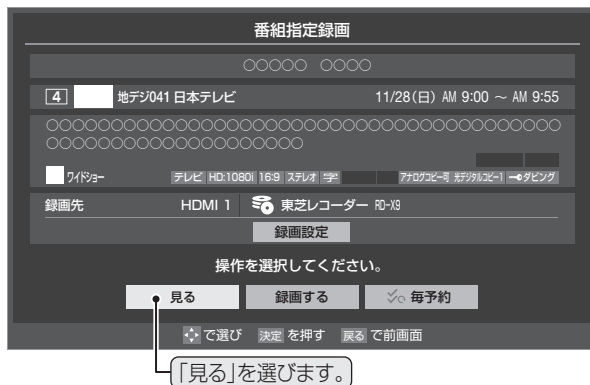
2 現在放送中の番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

- 選んだ番組の番組説明を見るには、黄を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀·▶を操作します。

3 決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。30 の手順3をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図はレグザリンク対応の東芝レコーダーが接続されている場合の例です。

- 選んだ番組の放送画面になります。

[番組表画面：7チャンネル表示の例]

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」16 の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」(準備編 40)で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- 録画予約をしても番組表に予約アイコンなどは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

番組を見ながら他の番組を探す

● 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1 クイックを押し、▲･▼で「ミニ番組表」を選んで決定を押す

● ミニ番組表が表示されます。
● 操作方法は、前ページの番組表の場合と同じです。

文字サイズを大きくする

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときは、番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。

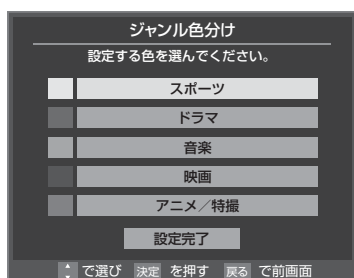
1 クイックを押し、▲･▼で「文字サイズ変更」を選んで決定を押す

2 希望の文字サイズを▲･▼で選び、決定を押す

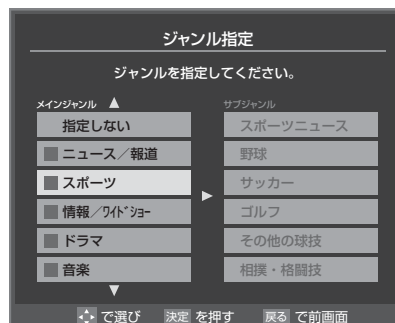
ジャンル別に色分けする

● 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
● お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。
● 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。(各放送メディアに共通の設定になります)

1 クイックを押し、▲･▼で「ジャンル色分け」を選んで決定を押す

2 設定する色を▲･▼で選び、決定を押す

用語
■ 放送メディア
デジタル放送の媒体(テレビ放送、データ放送、ラジオ放送)をさします。

3 ▲･▼･◀･▶でジャンルを選び、決定を押す

● 決定を押すと手順*2*の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
●「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

4 ▲･▼で「設定完了」を選び、決定を押す

その他の便利な機能を使う

● カラーボタンや番組表のクイックメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
● 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。(一部の機能がミニ番組表では使用できません)

今の時間帯の番組表を表示させる

● 数日後の番組表を見ているようなときに、簡単に今の時間帯の番組表に戻ることができます。

1 青(今の時間へ)を押す

● 今の時間帯の番組表になります。
● 今の時間帯には、番組表の左右にある時間帯表示部分に縦の線が表示されています。14

指定した日時の番組表を表示させる

● 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 赤(日時切換)を押す

2 ▲･▼･◀･▶で日時を選び、決定を押す

● 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

テレビを見る

見たい番組を探す

見たい番組を探す つづき

番組説明を見る

● 選択した番組の番組説明を見ることができます。

1 **番組を選んで 黄（番組説明）を押す**

● 番組説明画面 12 が表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア（ラジオ、テレビ、独立データ）を選びます。

1 **クイック を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで 決定 を押す**

2 **▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで 決定 を押す**

●「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

番組表を更新する

● 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲・▼で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す**

※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。

※ 録画中は番組情報の取得ができません。

◇ 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。

◇ BSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。将来、放送の運用が変更された場合は、選択中の番組を含むTS（トランスポートストリーム）の番組だけが更新されます。

◇ 110度CSデジタル放送の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に クイック を押し、▲・▼で「番組情報の取得中止」を選んで、決定 を押します。

■ TS（Transport Stream: トランスポートストリーム）
多重信号形式の一つで、デジタル放送の多重化信号として採用されています。

■（放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。

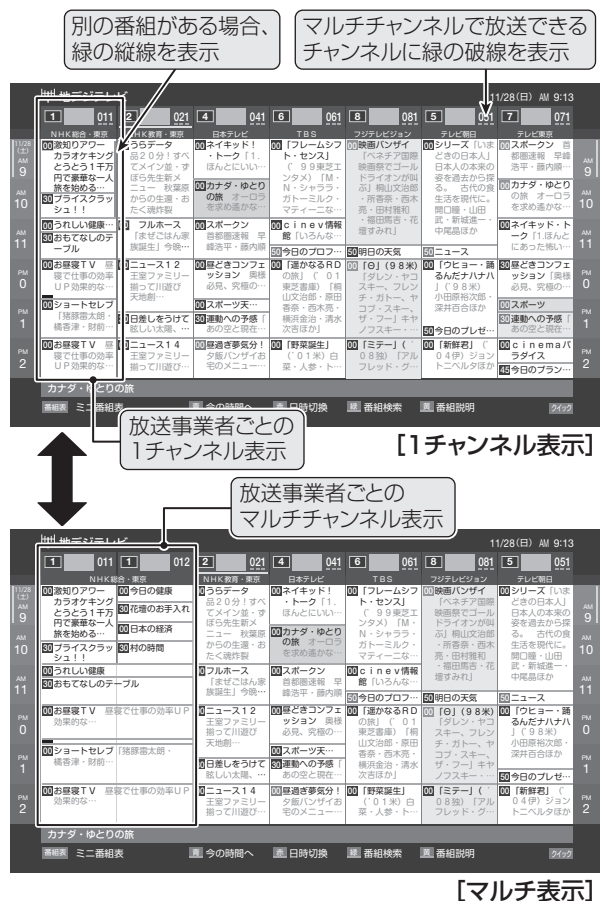
1 **切り換える放送局の番組をどれか選び、クイック を押す**

2 **▲・▼で「1チャンネル表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定 を押す**

● クイックメニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1チャンネル表示」のどちらか）が表示されています。

●「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

［1チャンネル表示］

［マルチ表示］

番組記号の説明を見る

● 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 **クイック を押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んで 決定 を押す**

● 番組記号の説明が表示されます。

● 表示されるのは番組記号の一部です。

● 見終わったら、決定 を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数設定」の順に進む

2 ▲·▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、決定 を押す

表示時間数を設定する

● 番組表に表示させる時間数を切り換えることができます。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示時間数設定」の順に進む

2 ▲·▼で「6時間表示」、「4時間表示」のどちらかを選び、決定 を押す

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順設定」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **通常**……………………………新聞などの番組表と同様の並び順になります。(新聞社によっては異なる場合があります)
- **チャンネルボタン優先**…ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示/非表示を設定する

● 選択中の番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示設定」の順に進む

2 ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表内の放送局の表示位置を設定します。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示設定」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **視聴チャンネル中央表示**…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

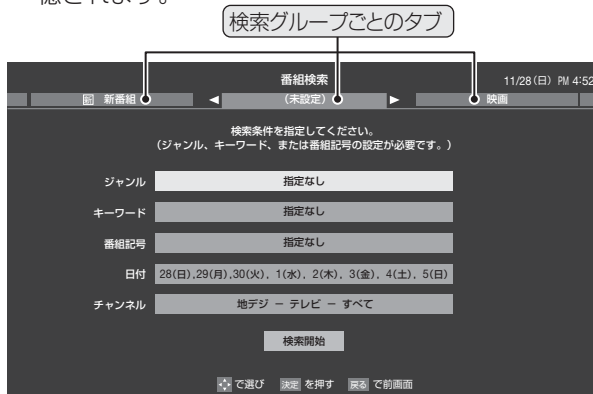
条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して見たい番組を探すことができます。

1 番組表またはミニ番組表が表示されているときに、緑(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。

3 検索条件を指定する

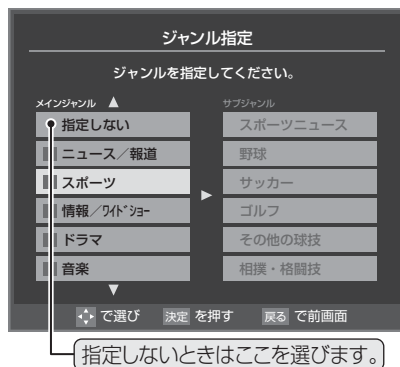
● 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

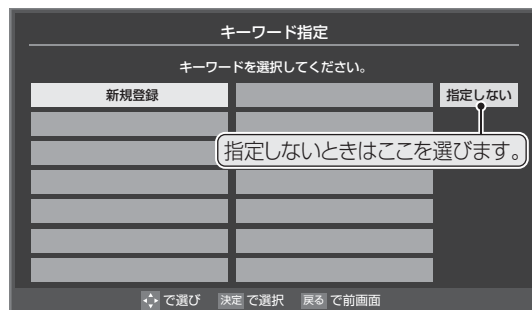
「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

❷ 指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す

「キーワード」を指定するとき

❶ ▲·▼で「キーワード」を選び、決定を押す

❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● お買い上げ時は登録されていません。

■新しいキーワードを登録する場合

① ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、決定を押す

● 文字入力のしかたは、「文字を入力する」 20 をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、青を押す

② キーワードを編集し、決定を押す

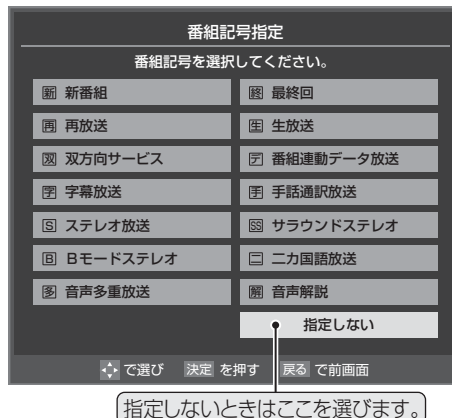
■キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、赤を押す

② ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ▲·▼で「番組記号」を選び、決定を押す

❷ 指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

用語

■ ジャンル
スポーツ、映画、音楽などのような、番組の分野のことです。

■ キーワード
情報検索で、情報を引き出すための手がかりとなる語のことです。

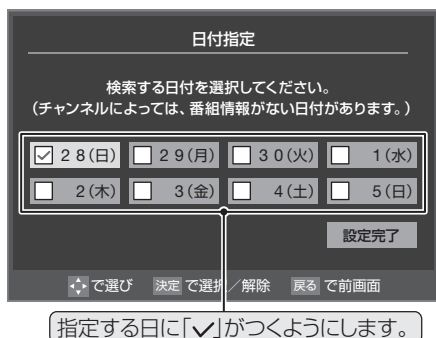
お知らせ

● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 「チャンネルスキップ設定」(準備編 40)で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

「日付」を指定するとき

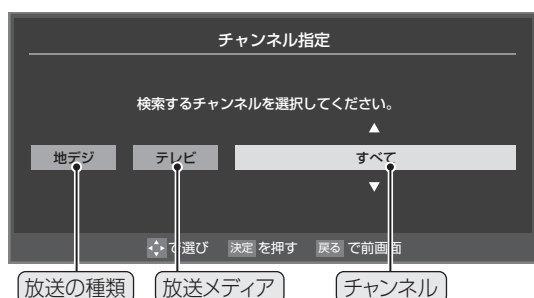
❶ ▲·▼で「日付」を選び、(決定)を押す

❷ 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、(決定)を押す

- (決定)を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

❸ 指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

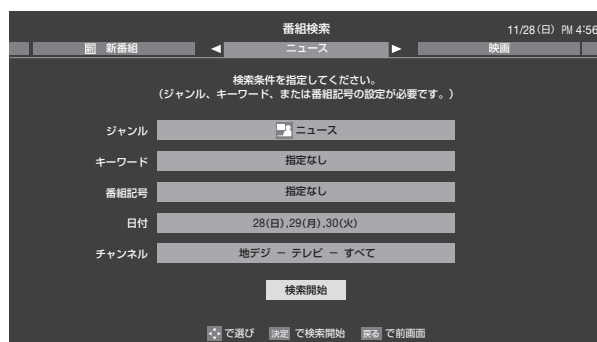
「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す

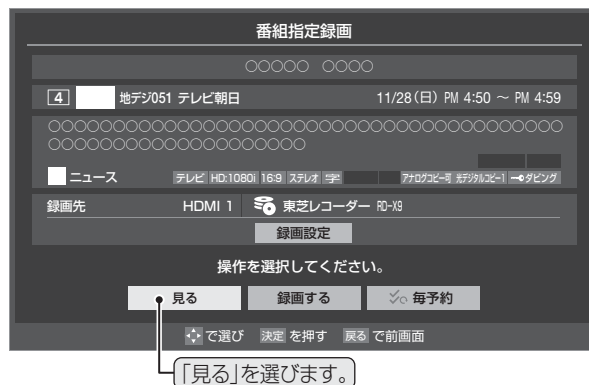
❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**………すべて／BS／CS／地デジ
- **放送メディア**……すべて／テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- **チャンネル**………指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、(決定)を押す

4 ▲·▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す

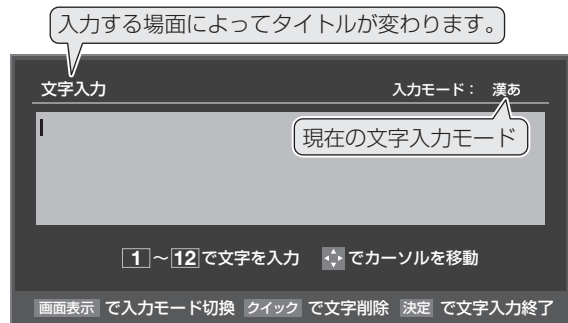
- 選択中のタブの検索グループに、手順*3*で指定した検索条件が上書きで保存されます。

5 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲·▼で選び、(決定)を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。30の手順*3*をご覧ください。

6 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、(決定)を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

条件を絞りこんで番組を探す つづき

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

1 [1]～[12]で文字を入力する

● 携帯電話と同じ操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて[10]を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて[10]を押すやりかたもあります。確定前であれば[10]を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

入力例：あい ➡ [1]、▶、[1](2回)
あ い

● 文字入力モードを変えるときは、[画面表示]を押します。

● 文字を挿入するには、挿入する場所を▲·▼·◀·▶で選んで入力します。

■文字を削除するには

● 1文字を削除するには、[クイック]を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。

● 文字をまとめて削除するには、[クイック]を押し続けます。
カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字がすべて削除されます。カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

●漢字に変換しないときは、(決定)を押す

●漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら(決定)を押す

- 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、(決定)を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字入力モード

「漢あ」	漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号モード	半角の記号を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
[1]	あ→い→う→え→お →ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ →ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
[2]	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →ヵ→ヶ	a→b→c →A→B→C	2
[3]	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
[4]	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト →ッ	g→h→i →G→H→I	4
[5]	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
[6]	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
[7]	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
[8]	や→ゆ→よ →ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ →ャ→ュ→ョ	t→u→v →T→U→V	8
[9]	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
[10]	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
[11]	わ→を→ん→ゎ→、→。 →ー→ ␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。 →ー→ ␣(スペース)	※1	*
[12]	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠→ ␣（スペース）
半角英字の場合…….→/→:→-→_→˜→@→ ␣（スペース）

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 入力した文字は、次のように表示されます。
- 入力中の文字：黄色背景
- 未確定の文字：白色背景
- 漢字変換候補選択中の文字：灰色背景
- 確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に(戻る)を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

BD・DVD・ゲームなどの画面に切り換える

● 本機の外部入力端子（HDMI入力1、2、ビデオ入力1、2）に接続したビデオや、DVD・BDプレーヤー /レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
● 機器の接続や設定については、準備編の「外部機器を接続する」の章をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換を押す

● 入力切換の操作は、本体左側面の入力切換でもできます。
● 画面左上に入力一覧画面が表示されます。

お買い上げ時の設定では、機器が接続されていないビデオ入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。（「外部入力スキップ設定」（準備編）59 で変更することができます）

3 機器を選択する（入力を選択する）

● 以下の2とおりの選択方法があります。
● HDMI連動機器を選択した場合は、操作パネルが表示されます。35

順番に切り換える

❶ 入力切換を繰り返し押す

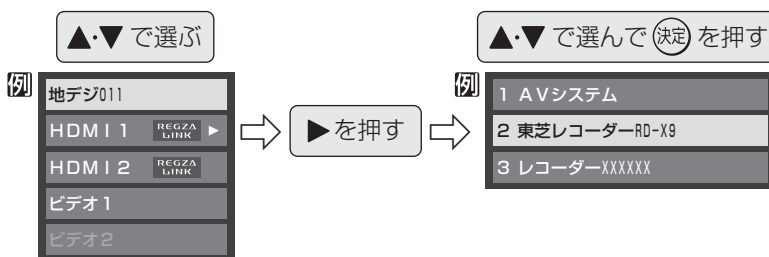
● 入力切換を押すたびに以下のように切り換わります。（お買い上げ時の設定では、機器が接続されていないビデオ入力はスキップされます）

→放送→HDMI1→HDMI2→ビデオ1→ビデオ2

入力一覧画面から選ぶ

❶ 使いたい機器の入力を▲・▼で選び、決定を押す

HDMI連動機器を選ぶとき

● HDMI連動機器は、入力一覧画面に REGZA LINK ▶ が表示されます。
・ REGZA LINK ▶が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
・ オーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。その場合は、以下のようにしてHDMI連動機器を選択します。

4 選択した機器を操作する

● 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
● レグザリンク対応の東芝レコーダーなど、HDMI連動に対応した再生機器の場合は本機のリモコンで機器の基本操作ができます。「HDMI連動機器を操作する」35 をご覧ください。
● ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」39 を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視し、ゲームをするのに適した画質設定になります。

● 入力切換時に画面に表示される「BD」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」（準備編 59）をご覧ください。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
- 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

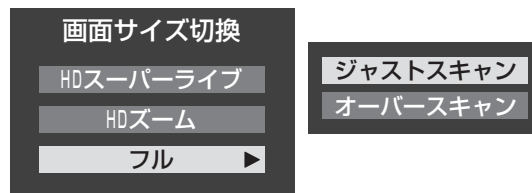
1 クイック を押し、▲·▼で「画面サイズ切換」を選んで決定を押す

2 お好みの画面サイズを▲·▼で選び、決定を押す

▶が表示されるとき

- 決定を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

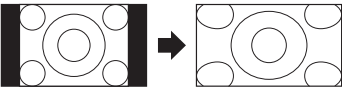
❶ ▶を押し、お好みのモードを▲·▼で選ぶ

- 画面サイズが「フル」、「ノーマル」または「ゲームフル」、「ゲームノーマル」のときは、「ジャストスキャン」と「オーバースキャン」の切換えができます。

- **ジャストスキャン**…· 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン**…· 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
地上アナログ放送、 デジタル放送の4：3の映像、 ビデオ入力端子(480iと480pのみ)	→スーパーライブ→ズーム→映画字幕→フル→ノーマル
デジタル放送の16：9の映像	→フル→HDスーパーライブ→HDズーム • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。
D5映像入力端子からのハイビジョン映像	→フル→ノーマル→HDスーパーライブ→HDズーム • 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	→ノーマル→Dot By Dot→スーパーライブ→ズーム→映画字幕→フル
VGA、SVGA、XGA、SXGA	→ノーマル→Dot By Dot→スーパーライブ→ズーム→フル
720p、1080i、1080p、WXGA	→ノーマル→Dot By Dot→HDスーパーライブ→HDズーム→フル

- 信号フォーマットについては65をご覧ください。画面の見えかたについては次ページをご覧ください。
- 1080p/1080i/SXGA表示時に「Dot By Dot」および、XGA/WXGA表示時に「ノーマル」はありません。

映像メニューを「ゲーム」にしているとき

入力端子	フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
HDMI入力端子	1080p、1080i、720p、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	→ゲームフル→ゲームノーマル→Dot By Dot
D5端子	1080p、1080i、720p	→ゲームフル→ゲームノーマル→Dot By Dot
D5端子	480p	→ゲームフル→ゲームノーマル→ポータブルズーム
映像入力端子、D5端子、S2映像入力端子	480i	ゲームフル↔ゲームノーマル

- 1080p/1080i/SXGA表示時に「Dot By Dot」および、XGA/WXGA表示時に「ゲームノーマル」はありません。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
4:3	スーパーライブ	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 映画を観に行きませんか? 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
16:9	フル		16:9の映像を画面内に表示するモードです。
	HDスーパーライブ※2	※3	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム※2	※3	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	ゲームフル	※4	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示します。(図は4:3の例です)
	ポータブルズーム		ポータブルタイプのゲーム機の映像を拡大して表示します。
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示します。映像のない部分は黒く表示されます。(図はSVGAの例です)

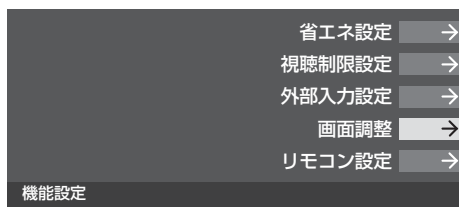
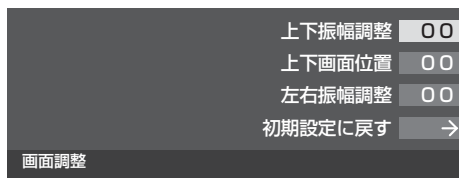
※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。

- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」(16：9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- 本機のS2映像端子とD5映像端子は、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別します。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的に「フル」や「ズーム」に切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

便利な機能を使う つづき

画面の位置や幅を調整する

● 放送/端子、信号、画面サイズの組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。
※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「機能設定」⇨「画面調整」の順に進む

2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

- **上下振幅調整** …… 映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置** …… 映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整** …… 映像の横のサイズを調整します。
- **初期設定に戻す** … お買い上げ時の調整状態に戻ります。手順**3**の操作はありません。

3 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

● 上下振幅調整と左右振幅調整は－03 ～＋03の範囲で調整できます。
● 上下画面位置は、視聴している映像の種類によって調整できる範囲が異なります。
● 調整画面では◀·▶を押さないと、数秒でメニュー画面に戻ります。

他の映像・音声に切り換える

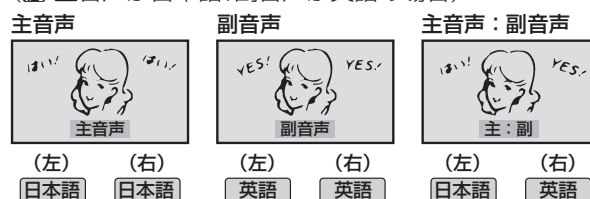
音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
● 番組情報画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換を押す

● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主：副 ┐

（例 主音声が日本語、副音声が英語の場合）

● 右記クイックメニューの「音多切換」でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

● 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
● 番組情報画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換を押す

● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 音声1 → 音声2 → 音声3… ┐

● 右記クイックメニューの「音声信号切換」でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
● 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む**

2 **切り換える信号を▲·▼で選び、決定 を押す**

● 視聴中の番組で切換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

3 **視聴したい映像、音声、データを▲·▼で選び、決定 を押す**

● 「信号切換」のクイックメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、前ページの 音声切換 で選択する機能と同じものです。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
※ 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む**

2 **▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ**

● 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

■ 信号切換について
● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

■ 降雨対応放送について
● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

便利な機能を使う つづき

テレビを目覚ましに使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報が取得されていない場合には使用できません。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「タイマー機能」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する

オンタイマー機能

● オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼で「オンタイマー機能」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「入」を選び、決定 を押す

● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

● オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼で「日時」を選び、決定 を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

チャンネル

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類 ……地デジ／ BS ／ CS
- チャンネル……設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

音量

● オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ ▲·▼で「音量」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼でお好みの音量を選び、決定 を押す

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「タイマー機能」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲·▼で選び、決定 を押す

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● オフタイマーが設定されているときに クイック を押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

■「オンタイマー」について

● 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。

● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■「オフタイマー」について

● 設定した時刻になる前に、電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

● 本機で録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

映像を静止させる

● 映像の動きを止めることができます。たとえば、料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときに便利です。

1 静止を押す

● 映像が静止します。
● 解除するときは、静止をもう一度押します。
※ 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

■ 映像の静止（静止画）について
● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
● 字幕放送の場合、映像の静止中は字幕は表示されません。
● 映像の静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画が解除されます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

録画・予約機能について

録画・予約機能について

- レグザリンク対応の東芝レコーダーを本機に接続し、本機の操作で東芝レコーダーに録画や録画予約をすることができます。
  レグザリンク対応の東芝レコーダーの対応機種については、「対応機種一覧」（準備編 77）をご覧ください。
- 放送予定の番組の視聴予約をすることができます。
  視聴予約をした番組の開始時刻になると、予約した番組のチャンネルに自動的に切り換わります。（本機の電源が「切」や「待機」になっている場合は動作しません）

本機と東芝レコーダーの連携による録画について

- HDMI連動機能を使って本機の操作でレグザリンク対応の東芝レコーダーに録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。
  - 予約内容の確認や取消しは本機側ではできません。
    レコーダー側で確認・操作してください。（本機の番組表や予約リストに予約アイコンや予約内容は表示されません）
  - 録画中止の操作は本機側ではできません。
    レコーダー側で操作してください。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕および連動データ放送などが録画できるかどうかは、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

- 視聴予約をする場合は準備は不要です。

準　備	内　容	記載ページ
機器の接続	•「レグザリンク対応の東芝レコーダーを接続するとき」をご覧ください。	準備編 47
本機の設定	•「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」に設定します。 （お買い上げ時は、「使用する」に設定されています）	準備編 52
レコーダーの設定	•「HDMI連動設定」を「利用する」に設定します。	東芝レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
録画前の準備	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクのみです。DVDに直接録画はできません。	

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する（今すぐ録画する）	29
番組表で録画・予約をする（番組指定録画）	30
番組を検索して録画・予約をする（番組検索録画・予約）	31
日時を指定して録画・予約をする（日時指定予約）	32

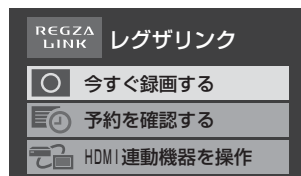
お知らせ
- 万一、機器の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

見ている番組を録画する ～今すぐ録画する～

● 今見ているデジタル放送番組を簡単に録画することができます。

1 デジタル放送を見ているときに レグザリンク を押す

● レグザリンクメニューが表示されます。

2 ▲·▼で「今すぐ録画する」を選んで 決定 を押す

3 録画設定を変更する場合は、▲·▼で「録画設定」を選んで 決定 を押す

録画時間を変更する場合

● 設定できる時間は、最大23時間59分です。ただし、設定した画質モードによっては録画時間が制限されます。
● 「ダイレクト録画時間設定」（準備編 53）で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。
お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。

❶ ▲·▼で「録画時間」を選び、決定 を押す
❷ ◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定し、決定 を押す
❸ ▲·▼で「設定完了」を選び、決定 を押す

その他の録画設定を変更する場合

● 設定項目の内容については、次ページの「録画設定を変更するとき」の表をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

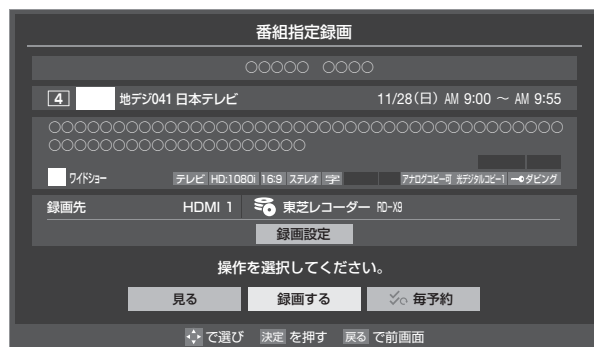
● 東芝レコーダーに設定情報が送られ、しばらくすると録画が開始されます。

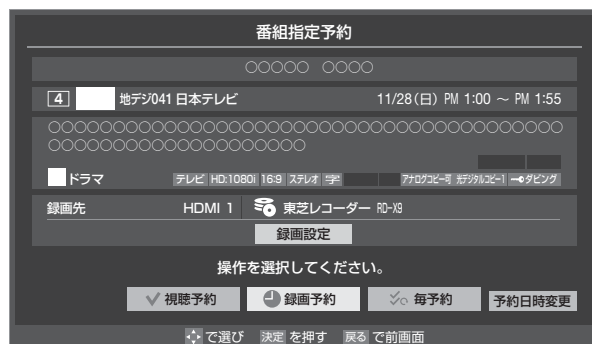
番組表で録画・予約をする ～番組指定録画・予約～

1 番組表を押す

2 録画したい番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 以下の操作で録画・予約をする

現在放送中の番組を選んだ場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す
- 東芝レコーダーに設定情報が送られ、しばらくすると録画が開始されます。

これから放送される番組を選んだ場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」、「毎予約」のどれかを選び決定を押す
- **視聴予約**
  指定した番組の視聴を予約します。
- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **毎予約**
  1回の予約で、同じ番組や連続ドラマなどを毎回録画します。
  「毎予約」を選んで決定を押すと、予約日時の確認・設定画面が表示されます。必要に応じて録画日を選択することができます。

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

「予約日時変更」を選択した場合

- メッセージに従って操作をすると、「日時を指定して録画・予約をする」32 の手順4にジャンプします。

録画設定を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「録画設定」を▲·▼で選び、決定を押す
- 「録画設定」が選択できないようになっているときは、「録画する」や「録画予約」を先に選んでおきます。

❷ 設定する項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す
- 項目の内容については、下表をご覧ください。

❸ ▲·▼で内容を選び、決定を押す

❹ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す
- 録画・録画予約画面に戻ります。

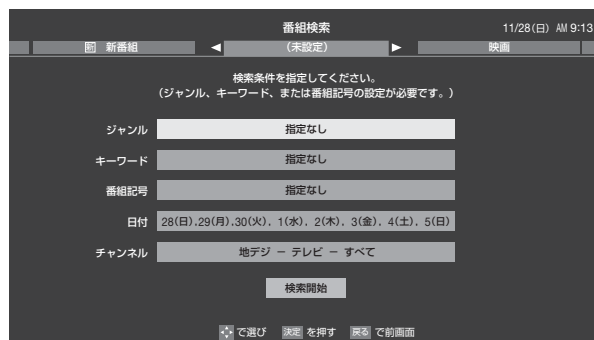
項　目	内　容
録画先	• 東芝レコーダーが複数接続されている場合、録画をするレコーダーを選びます。
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。 ※ 放送時間の繰上げには対応できません。 • 日時指定予約では設定できません。
画質モード	• 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。 • 「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1～5」は、録画機器側で設定されている内容です。
音質モード	• 画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。(画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1～5」「TS/DR」のときは、音質モードの設定はできません)
DVD互換	• DVD-Videoの作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。 • 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。 • 画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1～5」「TS/DR」のときは、選択できません。

- 視聴予約をした番組は、番組表に視聴予約アイコンが表示されます。14
- 視聴予約の確認や取消しについては、33 をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする ～番組検索録画・予約～

1 番組表 を押す

2 緑（番組検索）を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 グループのタブを選んで、検索条件を指定する

● 操作方法は「条件を絞りこんで番組を探す」18の手順**2**～**3**と同じです。

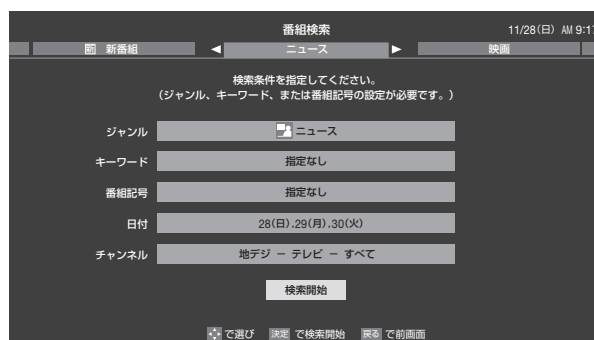
4 ▲・▼で「検索開始」を選び、決定を押す

5 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲・▼で選び、決定を押す

番組検索結果　11/28(日) AM 9:18

検索グループ名：ニュース

番組名		放送
字NEWS	7	地デジ071 11/28(日) AM 9:52
首都圏のニュース字	4	地デジ041 11/28(日) AM 9:53
Ｎｅｗｓチャンネル	5	地デジ051 11/28(日) PM 0:53
今日のニュース字	8	地デジ081 11/28(日) PM 0:53
夕方のニュース	3	地デジ031 11/28(日) PM 5:00
ニュース各地から	1	地デジ011 11/28(日) PM 5:05
報道！S	6	地デジ061 11/28(日) PM 5:50
ニュース	1	地デジ011 11/28(日) PM 6:00
ニュース	4	地デジ041 11/28(日) PM 6:45

で選び　決定 を押す　戻る で前画面　黄 番組説明

6 録画・予約をする

● 操作方法は、前ページの「番組表で録画・予約をする」の手順**3**と同じです。

● 放送中の番組を選んで、「録画する」を選択した場合は、録画が始まります。

● 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

日時を指定して録画・予約をする ～日時指定予約～

1 レグザリンクを押す

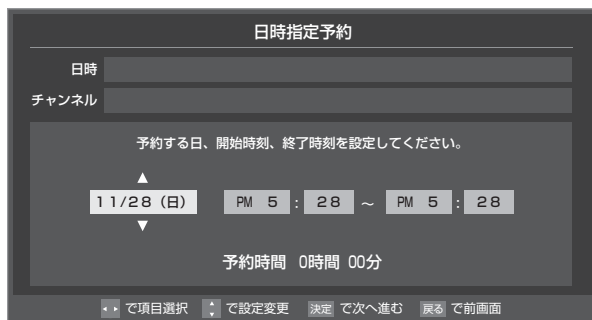
● レグザリンクのメニューが表示されます。

2 ▲·▼で「予約を確認する」を選び、決定を押す

● 予約リストが表示されます。

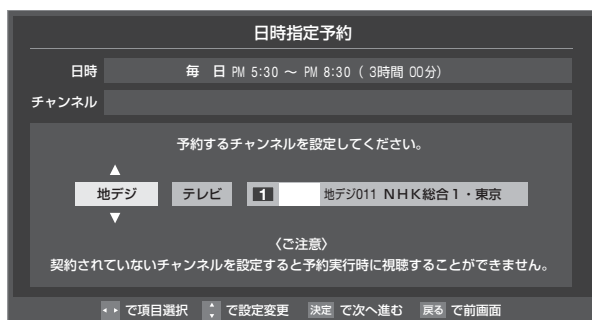
3 青を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

4 録画予約の日時を設定する

❶ **設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を設定する**

- ● 6週間先まで指定できます。
- ● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
- ● 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ **設定が終わったら、決定を押す**

5 録画するチャンネルを設定する

❶ **設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ**

- 放送の種類………地デジ／BS／CS
- 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル………指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷ **設定が終わったら、決定を押す**

6 ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す

● 録画設定を変更する場合は、30 の操作をします。

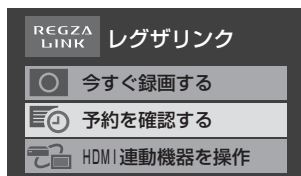
7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

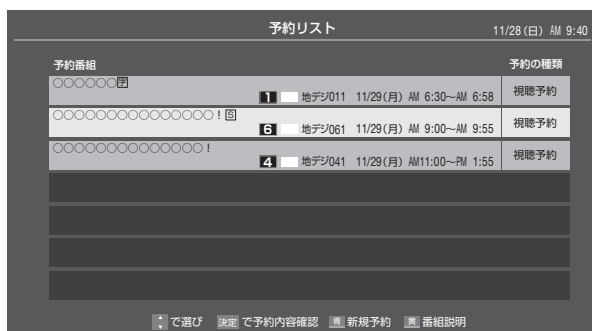
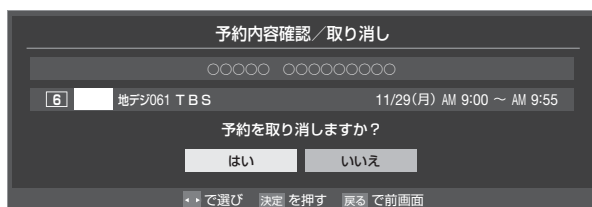
● 視聴予約の確認や取消しについては、次ページをご覧ください。

視聴予約の確認・取消しをする

● 視聴予約の確認と取消しをすることができます。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認できません。レコーダー側で確認や取消しの操作をしてください。

1 レグザリンク ○ を押す

2 ▲·▼で「予約を確認する」を選び、(決定)を押す

● 予約リストが表示されます。

3 予約を確認する番組を▲·▼で選び、(決定)を押す

4 予約を取り消す場合は、◀·▶で「はい」を選んで(決定)を押す

レグザリンクとは

レグザリンクの機能でできること

HDMI連動機器を操作する

● 本機に接続したHDMI連動対応（レグザリンク対応）の録画機器や再生機器、パソコン、オーディオ機器などの基本操作が本機のリモコンでできます。

本機とHDMI連動機器の動作を連動させる

● **ワンタッチプレイ** ………HDMI連動に対応した機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● **システムスタンバイ** …… 本機のリモコンで本機の電源を「待機」にしたときや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときに、本機からのシステムスタンバイが働き、HDMI連動機能に対応した機器も同時に電源が「待機」になります。また、接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

HDMI連動機能について

● 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。

● 本機と東芝製のHDMI連動機器（レコーダー、パソコンなど）や東芝推奨のオーディオ機器などをHDMIケーブルで接続することで利用できます。

※「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。

※ HDMI連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は、お買い上げ時に「HDMI連動設定」（準備編 52）で設定されています。

● 推奨機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。

● 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。

● HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。

• 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。

• すべての接続機器の動作を確認してください。

※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

HDMI連動機器について

オーディオ機器について

● オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。

● オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

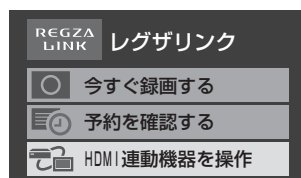
● オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。

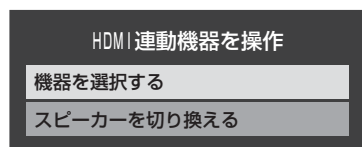
※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

HDMI連動機器を操作する

● 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤー、パソコンなどの基本操作をすることができます。
● オーディオ機器の操作については、38 をご覧ください。

1 放送視聴時に レグザリンク を押す

2 ▲･▼で「HDMI連動機器を操作」を選び、決定を押す

● 対象の機器が1台の場合は手順**5**に進みます。
● オーディオ機器の接続がなく、対象機器が2台接続されている場合は、手順**4**に進みます。

3 ▲･▼で「機器を選択する」を選び、決定を押す

4 操作する機器を◀･▶で選び、決定を押す

5 機器を操作する

● 操作パネルを参照して機器を操作します。
操作パネルは、リモコンボタンの機能を読み変えるためのガイドです。

操作パネル（例）

● 操作パネルが表示されているとき、リモコンの操作機能は右記のようになります。
● 手順**4**でオーディオ機器（AVシステム）を選択した場合は、37 をご覧ください。

操作パネル表示中のリモコン操作

● 機器によっては、操作パネルの表示内容や機器の動作内容が異なる場合があります。

ボタン	機能名・動作
決定	**再生** • 機器の番組再生を開始します。
▲	**一時停止** • 再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。
▼	**停止** • 再生を停止します。
▶	**早送り** • 再生中に押すと早送り再生になります。
◀	**早戻し** • 再生中に押すと早戻し再生になります。
青	**前スキップ** • 前に戻って頭出し再生をします。
黄	**先スキップ** • 一つ先に進んで頭出し再生をします。
赤	**ワンタッチリプレイ** • 再生中に押すと少し戻って再生します。
緑	**ワンタッチスキップ** • 再生中に押すと少し進んで再生します。
レグザリンク	**表示/非表示** • 操作パネルを非表示にします。 • 操作パネルを非表示にすると上記の動作にはなりません。次ページをご覧ください。
番組表	**機器操作** • 機器操作メニューを表示させます。 • 機器操作メニューの例については、次ページ以降をご覧ください。

● 操作パネルは、入力切換操作21でHDMI連動機器に切り換えた場合にも表示されます。

HDMI連動機器を操作する つづき

操作パネル非表示中のリモコン操作

● 操作パネルの表示をレグザリンク◯で消すと、本機のリモコンボタンで以下の機器操作ができます。

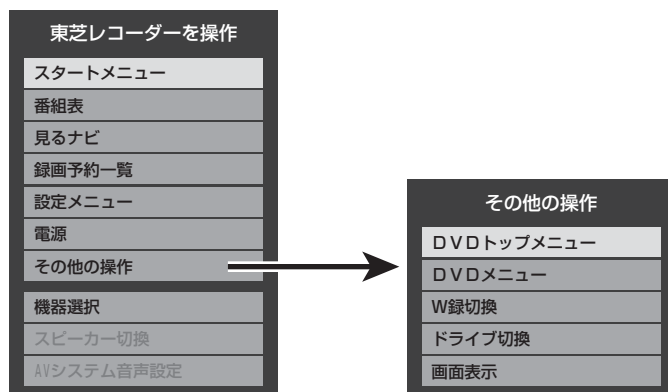
● 機器によっては動作しない場合があります。

ボタン	東芝レコーダー	東芝パソコン	オーディオ機器
決定	○	○	−
終了	○	○	−
戻る	○	○	−
▲・▼・◀・▶	○	○	−
青	○	○	−
黄	○	○	−
赤	○	○	−
緑	○	○	−
＋音量−	−	−	○
消音	−	−	○
レグザリンク	• 操作パネルを表示させせます。		

機器操作メニューで操作する

● 操作パネルの表示中に番組表◯を押すと、機器操作メニューが表示されます。

● 操作パネルに戻るときは、戻る◯を押します。

東芝レコーダー

スタートメニュー

● 東芝レコーダーのスタートメニューが表示されます。

番組表

● 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

見るナビ

●「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます。

録画予約一覧

● 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

設定メニュー

● 東芝レコーダーの設定メニューが表示されます。

電源

● 決定で電源の「入」、「待機」ができます。

DVDトップメニュー

● DVD視聴中に選ぶとDVDトップメニューが表示されます。

DVDメニュー

● DVD視聴中に選ぶとDVDメニューが表示されます。

W録切換

● W録選択を切り換えます。

ドライブ切換

● ハードディスクとDVDを切り換えます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

東芝製以外のレコーダー

- HDMI CEC対応のレコーダーを操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

東芝パソコン

ソフトウェア選択

- 表示される項目を▲･▼で選んで決定を押すと、アプリケーションが起動します。
- 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。

クイックメニュー

- 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

画面表示

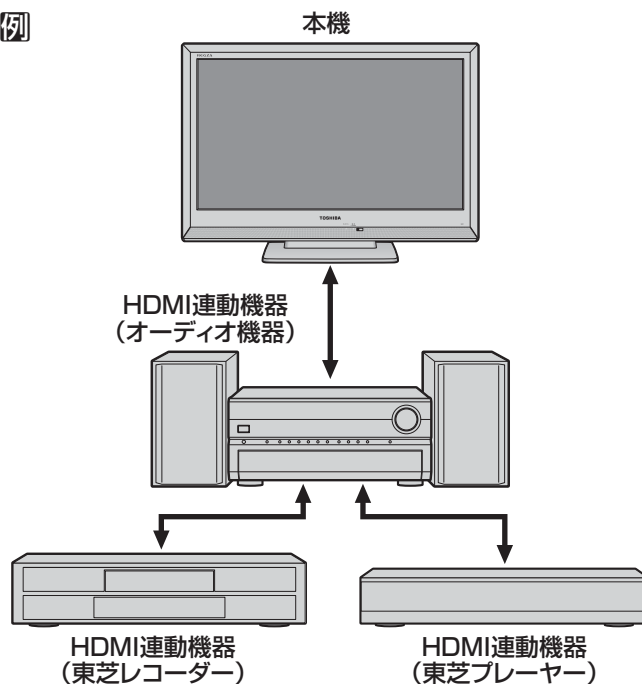
- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

- 決定でパソコンの「起動」､「シャットダウン」ができます。

HDMI連動機器に接続された機器

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。

例

東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「AVシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。

オーディオ機器を選択したとき

- オーディオ機器に接続されている機器の選択（入力切換）ができます。
- 東芝レコーダーの操作メニューを表示させることができます。

オーディオ機器で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

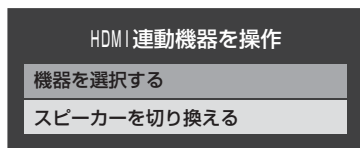
- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルで接続します。（準備編 48）
- 本機とオーディオ機器を光デジタル音声ケーブル（準備編 48）または、音声用コード（準備編 49）で接続します。
- HDMI連動に非対応のオーディオ機器の場合も、本機のスピーカーから音声を出さないときは以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節します。

1 レグザリンク を押す

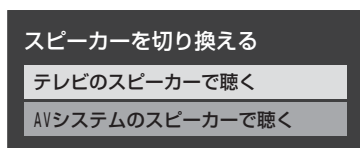
2 ▲・▼で「HDMI連動機器を操作する」を選び、決定を押す

- レコーダーなどの接続がなく、オーディオ機器だけが接続されている場合は、手順**4**に進みます。

3 ▲・▼で「スピーカーを切り換える」を選び、決定を押す

HDMI連動機器を操作
- 機器を選択する
- スピーカーを切り換える

4 ▲・▼で「AVシステムのスピーカーで聴く」を選び、決定を押す

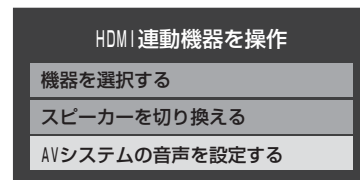
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビのスピーカーで聴く」を選びます。

スピーカーを切り換える
- テレビのスピーカーで聴く
- AVシステムのスピーカーで聴く

5 音量を調節する

- 本機のリモコンでお好みの音量に調節します。
- 本機のリモコンの 消音 で消音の操作ができます。

オーディオ機器の音声を設定する

- 以下の条件❶と❷の両方が満たされるときに、「HDMI連動機器を操作」のメニューから「AVシステムの音声を設定する」が選べるようになります。（前ページの「東芝レコーダーを選択したとき」の機器操作画面では、「AVシステム音声設定」が選べるようになります）

HDMI連動機器を操作
- 機器を選択する
- スピーカーを切り換える
- AVシステムの音声を設定する

❶ 本機と音声連携が可能なオーディオ機器（AVアンプなどとそのスピーカー）がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（スピーカーから音声が出るようになっている）。

❷「HDMI連動設定」（準備編 52）が以下のように設定されている。
- HDMI連動機能……………使用する
- AVシステム連動…………使用する
- AVシステム音声連動……使用する

- オーディオ機器のサラウンドメニューから、お好みの音声を選択したり、ユニボリュームの機能を使用したりすることができるようになります。（オーディオ機器によっては、サラウンドメニューまたはユニボリュームのどちらか一方しか使用できない場合があります）

サラウンドメニュー

- AVシステム機器のサラウンドモードを設定します。
  サラウンドメニューから、視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。

※ 画面に表示されるサラウンドメニューは目安です。AVシステム機器側のサラウンドメニューの内容と一致しない場合があります。

※「おまかせ」に設定すると、番組が変わるたびに本機が取得した番組ジャンル情報がAVシステム機器に送られ、AVシステム機器のスピーカーからジャンルに適した音声が出るようになります。

ユニボリューム

-「オン」に設定すると、番組とコマーシャルの音量差、チャンネル間の音量差、外部入力間の音量差が少なくなるように補正され、テレビの音が聞きやすくなります。

※ クラシック音楽などの番組では、音量差を小さくすると音の強弱表現が損なわれます。そのような番組を視聴する場合や、映画などでシーンによって変わる音量差の迫力を味わいたい場合などは、この機能を「オフ」にしてください。

- 音量表示が「AVシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよびヘッドホーン端子から音声は出ません。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、準備編 77 の❷をご覧ください。
- AVシステム音声連動対応のオーディオ機器については、準備編 77 の❸をご覧ください。

お好みの映像メニューを選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
● 映像メニューは、放送と各入力端子で別々に選ぶことができます。

1 おまかせ映像 を押す

● おまかせ映像 を押すたびに映像メニューが順番に切り換わります。
● クイックメニューの「映像設定」⇨「映像メニュー」で選択することもできます。

映像メニュー	内　容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。 「コンテンツタイプ連動」を「オン」に設定すれば、コンテンツ情報が取得できる外部入力の場合にそのコンテンツに適した画質で表示されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
テレビプロ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画プロ	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。 （「HDMI1」、「HDMI2」、「ビデオ1」、「ビデオ2」入力選択時に選べます）
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。 （「HDMI1」、「HDMI2」入力選択時に選べます）

「コンテンツタイプ連動」の設定を変えるとき

● コンテンツタイプ連動は、HDMI入力端子に接続された外部機器から「映画」、「ゲーム」などのコンテンツタイプを識別する情報が入力された場合に、そのタイプに適した映像に本機が自動設定する機能です。
● お買い上げ時、「コンテンツタイプ連動」は「オン」に設定されています。設定を変えるときは、以下の操作をします。

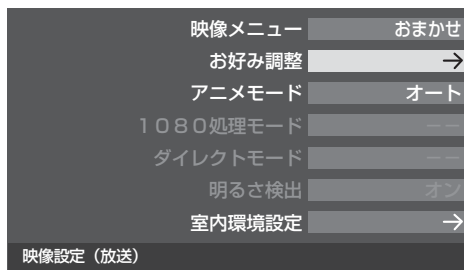
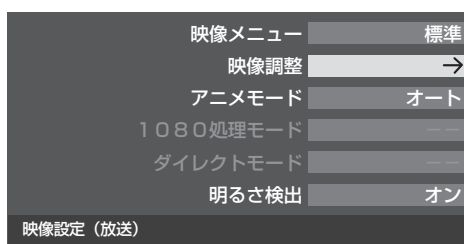
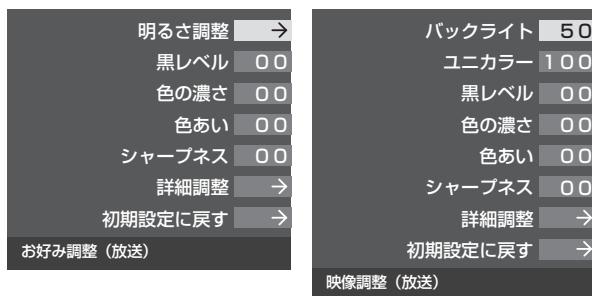
1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「設定」⇨「機能設定」⇨「外部入力設定」⇨「コンテンツタイプ連動」の順に進む

2 ▲・▼で以下の設定から選び、決定 を押す

- **オン**…… 「映像メニュー」を「おまかせ」にしたときに、コンテンツタイプ連動機能が働きます。
- **オフ**…… コンテンツタイプ連動機能は働きません。

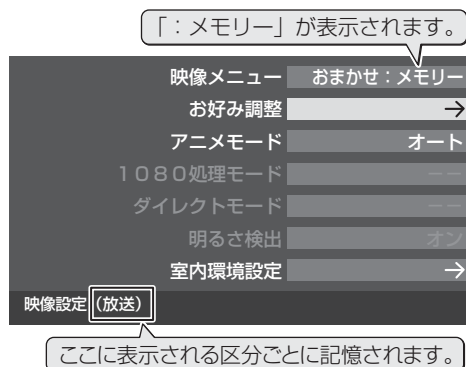
お好みの映像に調整する

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む

● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」を選びます。

2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

3 ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

● いくつもの項目を調整する場合は、手順**2**から繰り返します。
● 決定を押す前に▲·▼を押せば、調整項目を切り換えることができます。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

● 映像を調整すると、そのときに選択していた映像メニューに調整状態が記憶され、映像メニューの表示に「：メモリー」が加わります。
● 調整状態は、放送や各入力端子の区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送）の「おまかせ：メモリー」と（HDMI1）の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

調整項目	内　容	調整範囲
明るさ調整	「明るさセンサー」で明るさを自動調整するときの画面の明るさを調整します。「明るさ検出」が「オン」に設定されているときに表示されます。	46 をご覧ください。
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	00 ～ 100 暗くなる⇔明るくなる
ユニカラー	コントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。	00 ～ 100 淡くなる⇔濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。（黒髪などを見やすくします）	−50 ～ +50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整します。	−50 ～ +50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌の色に注目して、色合いを調整します。	−50 ～ +50 紫が強くなる⇔緑が強くなる
シャープネス	映像の鮮明さを調整します。	−50 ～ +50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる
詳細調整	映像をさらに細かく調整します。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。	――――

映像を詳細に調整する

● お好みに調整した映像を、さらに詳細に調整することができます。

1 クイック を押し、▲・▼と(決定)で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む

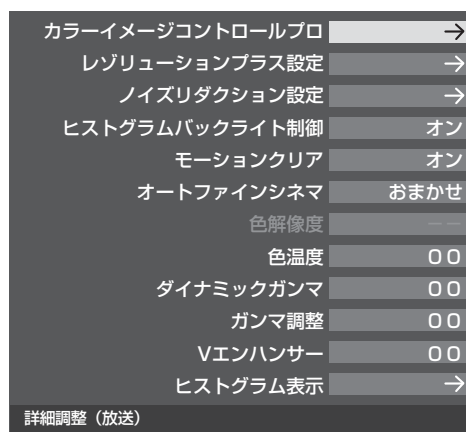
● 「映像メニュー」39 が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「映像調整」を選びます。

2 ▲・▼で「詳細調整」を選び、(決定)を押す

3 以降の手順で必要な項目を選んで調整する（45 まで）

● 機種によって表示される項目の一部が異なります。
● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。その場合は薄くなって表示され、項目が選択できません。

項目	設定
カラーイメージコントロールプロ	→
レゾリューションプラス設定	→
ノイズリダクション設定	→
ヒストグラムバックライト制御	オン
モーションクリア	オン
オートファインシネマ	おまかせ
色解像度	– –
色温度	0 0
ダイナミックガンマ	0 0
ガンマ調整	0 0
Vエンハンサー	0 0
ヒストグラム表示	→

詳細調整（放送）

カラーイメージコントロールプロ

● 映像の色調を調整することができます。
● 「カラーパレットプロ調整」には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。

カラーイメージプロ設定

● 「カラーパレットプロ調整」の機能を使う場合は、「カラーイメージプロ設定」を「オン」にします。（お買い上げ時は「オン」に設定されています）

1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を▲・▼で選んで(決定)を押す

2 ▲・▼で「カラーイメージプロ設定」を選び、(決定)を押す

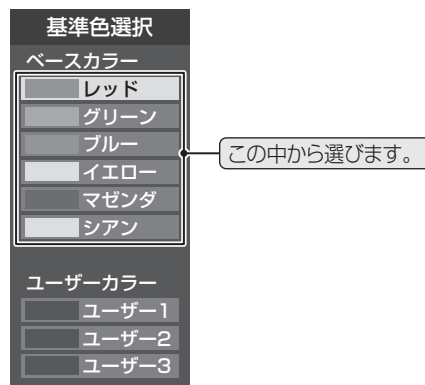
3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、(決定)を押す

ベースカラー調整

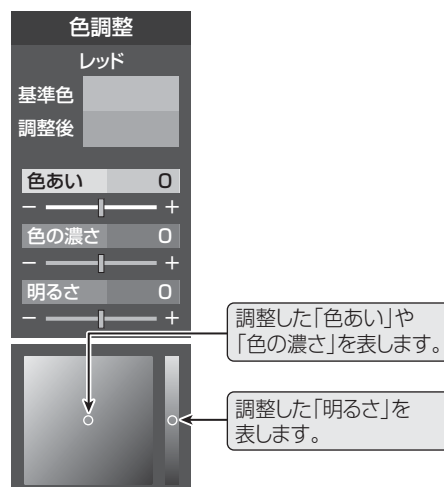
● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整します。
● 「カラーイメージプロ設定」が「オン」のときに設定できます。

1 「詳細調整」画面で、▲・▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで(決定)を押す

2 ▲・▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、(決定)を押す

3 調整したい色を▲・▼で選び、(決定)を押す

4 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ 青 を押して静止画にする
（もう一度 青 を押すと静止画が解除されます）
● 動画のままでも調整できます。

❷ ▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀・▶で調整する
● 調整範囲は－30 ～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

❸ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す
● いくつもの色を調整する場合は、手順**3**、**4**を繰り返します。
● 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

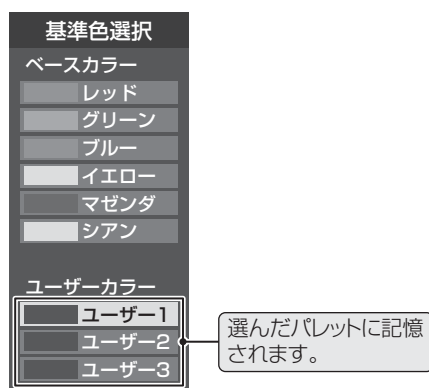
映像を詳細に調整する つづき

ユーザーカラー調整

● 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整します。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

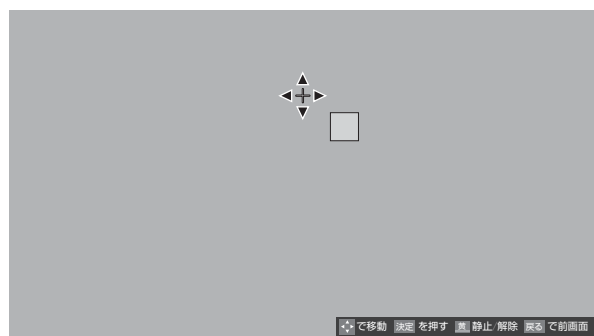
1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を▲·▼で選んで(決定)を押す

2 ▲·▼「カラーパレットプロ調整」を選び、(決定)を押す

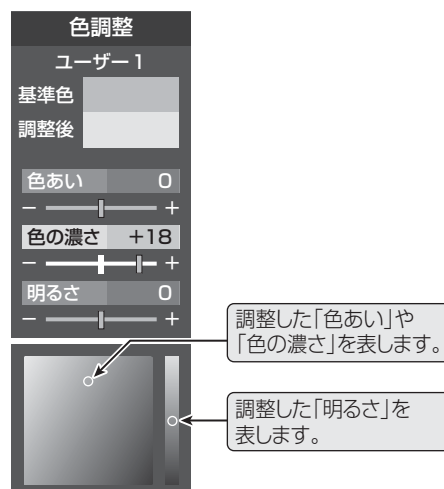
3 ▲·▼で「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、「ユーザー 3」のどれかを選び、(決定)を押す

4 以下の操作で調整したい色をユーザーカラーに登録する

❶ (青)を押して静止画にする
● 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

❷ ▲·▼で「基準色変更」を選び、(決定)を押す
● カーソルが表示されます。

❸ 調整したい色の部分まで▲·▼·◀·▶でカーソルを移動し、(決定)を押す
● パレットに色が登録されます。

5 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ (青)を押して静止画にする

❷ ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で調整する
● 調整範囲は−30 ～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、(赤)を押します。

❸ 選んだ色の調整が終わったら、(戻る)を押す
● ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順**3**～**4**を繰り返します。
● 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

お買い上げ時の設定に戻すとき

● すべての色をお買い上げ時の設定に戻します。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで(決定)を押す

2 ▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、(決定)を押す

3 ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、ベースカラー調整を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

レゾリューションプラス設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラスの設定

● レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、以下の「レベル調整」は機能しません。

1 「詳細調整」画面で、「レゾリューションプラス設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 ▲·▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**……レゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**………レゾリューションプラスは働きません。

レベル調整

1 「詳細調整」画面で、「レゾリューションプラス設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 ▲·▼で「レベル調整」を選んで決定を押す

3 ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
おまかせ時	−02 ～ +02	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせ以外	01 ～ 05	

カメラ撮像補正

● カメラでの実写映像を補正して精細感を高めます。

1 「詳細調整」画面で、「レゾリューションプラス設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 ▲·▼で「カメラ撮像補正」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オート**……カメラ実写映像が補正されます。アニメやCGなどの実写でない映像は補正されません。
- **オフ**………この機能は働きません。

ノイズリダクション設定

● 画面のノイズやざらつきを減らします。
- MPEG NR……デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。
- ダイナミックNR…映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 「詳細調整」画面で、「ノイズリダクション設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 「MPEG（エムペグ） NR」または「ダイナミックNR」を▲·▼で選び、決定を押す

3 ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

設定項目	設定レベル
MPEG NR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。 ※ 「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」のときにだけ選べます。
ダイナミックNR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 通常は「オート」に設定してください。強くかけると残像が強くなる場合があります。

ヒストグラムバックライト制御

● 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「ヒストグラムバックライト制御」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**…ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
- **オフ**…ヒストグラムバックライト制御の機能は働きません。

■ レゾリューションプラス設定について
● レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器をつないだ場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

映像を詳細に調整する つづき

ファインシネマ

● 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
※ 映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「ファインシネマ」を選んで(決定)を押す

2 ▲·▼で以下から選び、(決定)を押す
- **オン**……映画などのフィルム映像が、スムーズな映像の動きと画質が再現されます。
- **オフ**……特別な処理をしない、元の映像がそのままの画質で表示されます。

色解像度

● 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。
● 外部入力を選択した場合に設定できます。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「色解像度」を選んで(決定)を押す

2 ▲·▼で以下から選び、(決定)を押す
- **ワイド**……………… 色の周波数帯域を広げることで、きめ細かな色が再現されます。
- **スタンダード**…… 色の周波数帯域を抑えることで、垂直方向の色抜けが目立たなくなります。DVD再生時に色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定してください。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「色温度」を選んで(決定)を押す

2 ◀·▶で数値を選び、(決定)を押す
● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
おまかせ時	－５～+5	
おまかせ以外	０～10	

3 ▲·▼で「Gドライブ」(緑)または「Bドライブ」(青)を選び、◀·▶で調整する
● 明るい部分の色温度を微調整します。
● 「おまかせ」に設定されているときは調整できません。
● 調整レベル範囲(G、Bドライブとも)

映像メニュー	調整レベル	調整レベルの数値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
おまかせ時	調整できません	
おまかせ以外	－15～+15	

ダイナミックガンマ

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「ダイナミックガンマ」を選んで(決定)を押す

2 ◀·▶で数値を選び、(決定)を押す
● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
おまかせ時	－５～+5	
おまかせ以外	０～10	

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

1 「詳細調整」画面で、▲・▼で「ガンマ調整」を選んで決定を押す

2 ◀・▶で数値を選び、決定を押す

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－5～+5	数値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
おまかせ以外		

Vエンハンサー

● 映像の横線の輪郭を、強調したり弱めたりすることができます。

1 「詳細調整」画面で、▲・▼で「Vエンハンサー」を選んで決定を押す

2 ◀・▶で数値または設定を選び、決定を押す

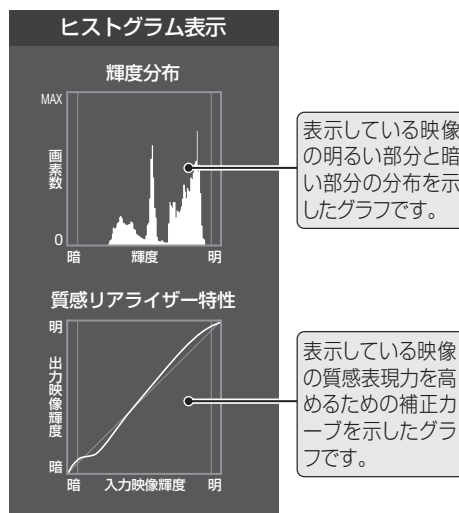
● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－5～+5	数値が大きくなるほど、輪郭が強調されます。
おまかせ以外	オート/強/中/弱/オフ	

ヒストグラム表示

● 映像のヒストグラムを見ることができます。

1 「詳細調整」画面で、▲・▼で「ヒストグラム表示」を選んで決定を押す

● 映像のヒストグラムが表示されます。

2 表示を消すには、決定を押す

その他の映像調整・設定をする

アニメモードを設定する

● アニメ番組を視聴するときに、アニメ番組に適した画質で表示されるようになります。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「アニメモード」の順に進む

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オート**…… 本機が自動的に切り換えます。
- **オン**……… アニメモードが働きます。
- **オフ**……… アニメモードは働きません。

1080処理モードを設定する

● 映像をより高画質で再現するために、接続した機器から入力された映像に補正を加えます。
● 映像メニューによっては、この操作はできません。
● ピュアダイレクトは1080pの映像でのみ選択できます。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「1080処理モード」の順に進む

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オート**……………… 映像の内容（周波数帯域）に応じて、高画質になるように自動的に補正します。
- **DVDファイン**…… SD画質の映像を機器側で1080pまたは1080iに解像度変換した映像が、より高画質になるように補正します。

ダイレクトモードを設定する

● 「映像メニュー」39 が「ゲーム」および「PC」のときに、映像の遅延をより抑えてゲームに適したモードにします。
● 設定できない映像の場合は、この項目は選択できません。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「ダイレクトモード」の順に進む

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オン**……ダイレクトモードの機能が働きます。
- **オフ**……ダイレクトモードの機能は働きません。

明るさ検出機能を設定する

● 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
※ 「映像メニュー」39 が「おまかせ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「明るさ検出」の順に進む

2 ▲·▼で以下から選び、決定 を押す

- **オン**……明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**……明るさ検出機能は働きません。

明るさを調整する

● 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。
● 上記の「明るさ検出」が「オン」に設定されている場合に調整できます。

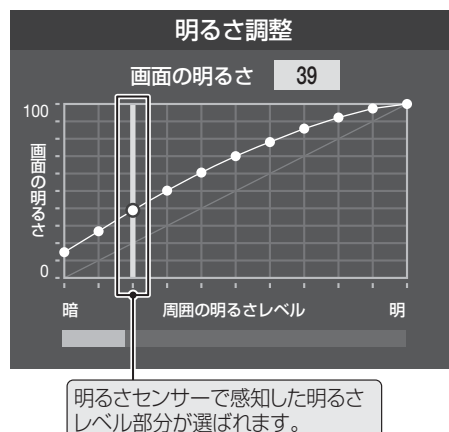
1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「映像設定」⇨「お好み調整」⇨「明るさ調整」の順に進む

● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「お好み調整」の代わりに「映像調整」を選びます。

2 決定 を押し、明るさを変えたいレベルを◀·▶で選ぶ

3 ▲·▼で画面の明るさを調整し、決定 を押す

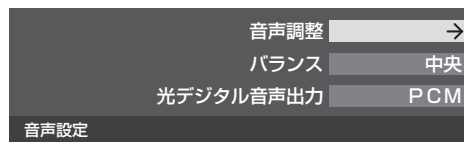
● 青 を押すと、調整前のレベルに戻ります。
● 赤 を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。

明るさセンサーで感知した明るさレベル部分が選ばれます。

● 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
● 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は6をご覧ください。
● 「明るさ検出」が「しない」に設定されている場合、「明るさ調整」は「バックライト」になります。40

お好みの音声に調整する

音質、サラウンドの調整・設定をする

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「音声調整」の順に進む

音声調整	→
バランス	中央
光デジタル音声出力	PCM
音声設定	

2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 調整項目の内容は下表のとおりです。

3 ◀·▶または、▲·▼でお好みの音声に調整し、決定を押す

● 「高音」、「低音」の調整画面では、◀·▶を押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。

● いくつもの項目を調整する場合は、手順**2**から繰り返します。

調整項目	◀·▶で調整する
高音	－50 ～ ＋50 高音が弱まる　高音が強まる
低音	－50 ～ ＋50 低音が弱まる　低音が強まる

調整項目	▲·▼で選択する
高音強調	ドラマのセリフや楽器の音の輪郭を明りょうにして聞きやすくします。 オン ←→ オフ
低音強調	豊かな低音を再生します。 (2段階で強調の設定ができます) →強 ←→ 弱 ←→ オフ←
サラウンド	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。 オン ←→ オフ

左右の音量バランスを調整する

● 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「バランス」の順に進む

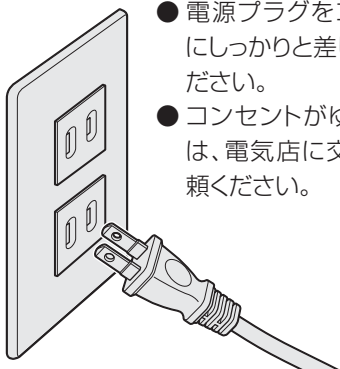
2 ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

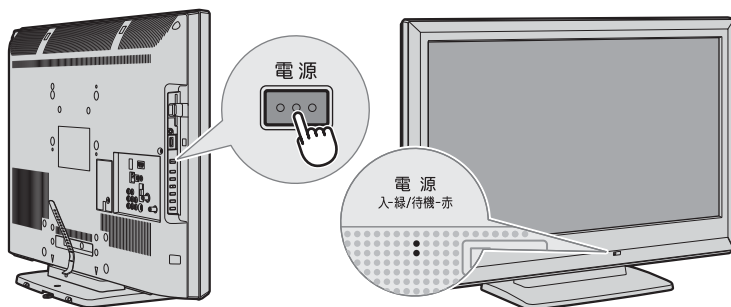
● ヘッドホーンの音声には「高音強調」、「低音強調」、「サラウンド」の効果は得られません。

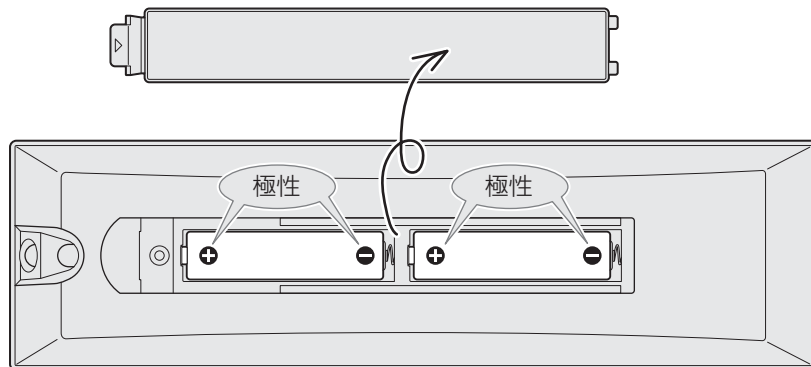
● 「音声設定」のメニューに表示される「光デジタル音声出力」については準備編の49をご覧ください。

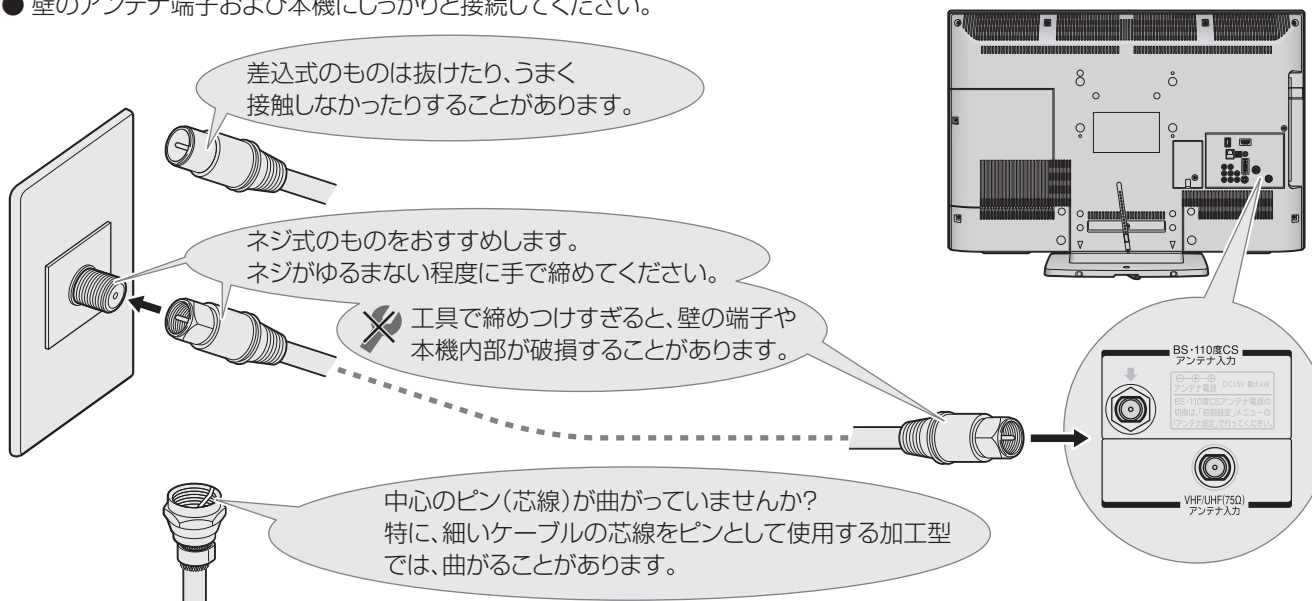
はじめにご確認ください

電源プラグが抜けていませんか?

- 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- コンセントがゆるいときは、電気店に交換をご依頼ください。

電源表示ランプが消えていませんか?

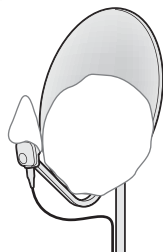
- 本体の電源ボタンで電源を入れてください。(電源表示ランプが消えているとリモコンでは操作できません)

リモコンの乾電池の向きは正しいですか? 乾電池が古くなっていませんか?

- 乾電池に表示された極性(+、−)の向きを確認してください。
- 新しい乾電池と交換してみてください。

アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか?

- 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。

こんな場合は故障ではありません

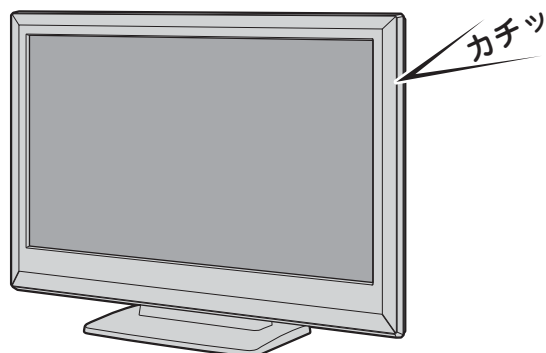
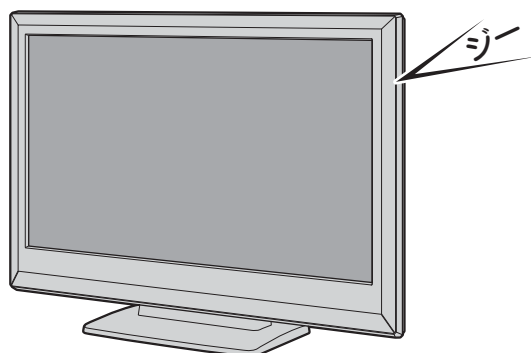
悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

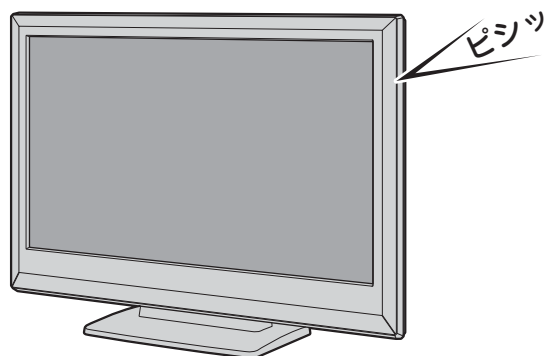
- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

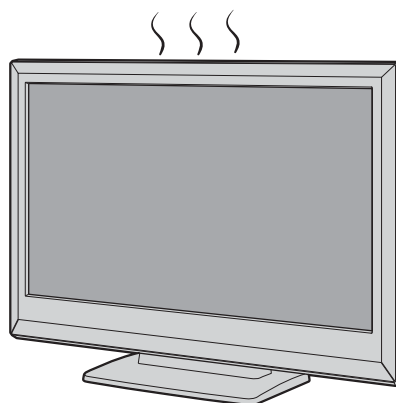
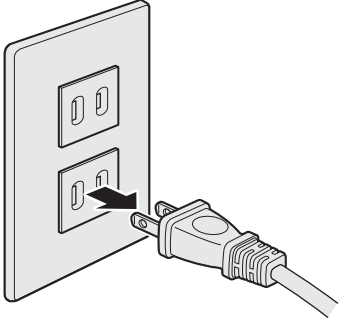
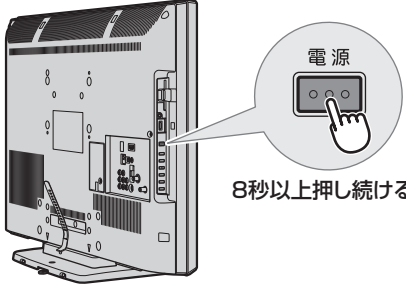
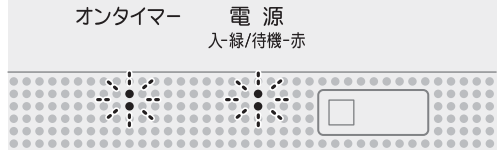
大雨が降っている

アンテナ接続か受信環境に不具合があるため、ご覧になれません。
ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。
青 ボタンでアンテナレベルをご確認ください。
コード ： E202

現在放送されていません。
コード ： E203

本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。

- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。（準）は、別冊「準備編」のページです。

テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

リセットのしかた	操作で対処したいとき
❶電源プラグをコンセントから抜く ❷1分間以上待つ ❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ❷本体前面の「オンタイマー」と「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	−
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体左側面の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	8
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	−

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	準28
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	準27
リモコンの乾電池の向き（＋、−）が合っていますか。	• 向き（＋、−）を確認し、正しく入れてください。	準27
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	−

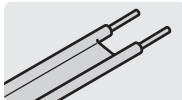
映像

放送の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準23～準26
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。(折らないようにご注意ください)	－
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	－
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。(販売店にご相談ください)	－
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準26

接続した機器の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	準46～準51
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	－
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• 本体の入力切換またはリモコンの(入力切換)で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	21

放送がきれいに映らない

雪が降ったようになる

はん点が出る

しま模様が出る

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。(販売店にご相談ください)	－
アンテナ線に平行フィーダー線(下図)を使っていませんか。	• 同軸ケーブルに交換します。 ※ 平行フィーダー線を使用すると、自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、ヘアードライヤーなどからの妨害や、他の機器や無線局などからの電波混信の影響を受けやすくなります。	－

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ」を選択してみます。 •「バックライト」や「明るさ調整」で適切な明るさに調整します。	39 40
映像メニューが「おまかせ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。	• 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	6

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	39 40

症状に合わせて解決法を調べる つづき

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－で音量を上げます。	11
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。 （＋音量－でも解除されます）	11
地上アナログ放送の電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 「無信号消音設定」を「オフ」にします。	準41

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は受信できません。	準21
地上デジタル放送に適合したUHFアンテナを使用していますか。	• 地上デジタル放送に対応したアンテナに接続します。お買い上げの販売店にご相談ください。	準22
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準33 準34
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	準36
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、お近くの電気店などにお聞きください。 • 社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（www.dpa.or.jp/）で確認することもできます。	－
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）	－

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後、「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をします。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をします。	準36

地上アナログ放送

自動チャンネル設定をしたが、地上アナログ放送が映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
お住まいの地域と、放送局（または中継局）がある地域が異なりますか。	• アンテナを目的の放送局がある方向に向け、「地上アナログ自動設定」で、お住まいの地域の代わりに目的の放送局がある地域を設定します。	準37
一部のチャンネルが受信できませんか。	• 「地上アナログ放送の一部のチャンネルが映らないとき」の操作で手動設定をします。	準33

BS/110度CSデジタル放送

BS/110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないとデジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信はできません。	準21
電波の種類(BS/110度CSデジタル)に適合したアンテナを使用していますか。	• 放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準22
アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外では、本機のアンテナ電源供給を「供給する」に設定します。	準35
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	準26
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準33
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ※ 同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。	−
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、VHF/UHF(75Ω)アンテナ入力端子へ) • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子とVHF/UHF(75Ω)アンテナ入力端子に接続します。	準24

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	− 16

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
−	• 番組表のクイックメニューの「文字サイズ」で、文字の大きさを変更することができます。	15

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	• 番組表のクイックメニューで「マルチ表示」を選択します。	16
「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定します。	準40

お知らせアイコン i が消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• クイックメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、アイコンは消えません。	59

症状に合わせて解決法を調べる つづき

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、HDMI連動対応のオーディオ機器に接続した機器も含めて、すべての機器が連動しているか確認してください。	準47 準48 準50
推奨機器(対応機器)ですか。	• 「対応機器一覧」で確認します。(最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza でお知らせしています) ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	準77
本機と接続機器の設定は正しいですか。	• 接続機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください) • 本機の「HDMI連動設定」を確認します。	－ 準52

オーディオ機器に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続機器側の設定は正しいですか。	• オーディオ機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください)	－
本機の設定は正しいですか。	• 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定します。	準52

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	25
「アンテナ接続か受信環境に不具合があるため、ご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 青ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS/110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください） • BS/110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	準22 〜 準26 準35
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	－
「該当するチャンネルはありません コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	－
「B-CASカードが入っていません。 B-CASカードをご確認ください。」	B-CASカードが挿入されていない。	B-CASカードを挿入します。	準21
「B-CASカードが正しく入っていません。B-CASカードをご確認ください。」	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードを正しく挿入します。	準21

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	準54 準55
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	－
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準42
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準42
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。（本機の動作は正常です）	－
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。		

エラーメッセージが表示されたとき つづき

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	レコーダー側で録画設定が変更されている。	レコーダーで録画設定の内容を確認します。	－
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください」	レコーダーの動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。	－
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。	レコーダーで予約を取り消します。	－
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。	指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。	－
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。	－
「録画機器に時刻が設定されていません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。	レコーダーの時刻設定をします。	－
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。	レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。	－
	レコーダーが正しく接続されていない。	本機とレコーダーを正しく接続します。HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。	準47

ソフトウェアの更新について

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ（www.toshiba.co.jp/regza/support/）でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
  - 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。

放送電波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- 以下の「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。常に最新のソフトウェアで使用することができます。

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードと自動更新をするように設定されています。「ダウンロードする」のままで使用することをおすすめします。

1 **クイック押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む**

2 **▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す**

- 青を押せば、自動ダウンロードの日時を一覧で確認することができます。

自動ダウンロードの動作について

- 更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、BSデジタル放送または地上デジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。（ダウンロード情報を確認する操作はありません）
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」（リモコンで電源を切った状態）のときに行われます。

※ 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。

■ ダウンロード

放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

ソフトウェアの更新について つづき

任意ダウンロードの予約をする

● 任意でダウンロードできるソフトウェアが用意されることがあります。ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。
※ ソフトウェアがない場合は、メニューで「ダウンロードの予約」を選択することができません。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」の順に進む

2 ▲･▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 ダウンロードの予約をする場合は、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す
● 予約できるダウンロードは一つです。
※ 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。

ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 上記「任意ダウンロードの予約をする」の手順*1*～*3*の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 変更後の日時を▲･▼で選び、決定を押す
❸ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す

※ 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。

ダウンロード予約を取り消すには

❶ 上記「任意ダウンロードの予約をする」の手順*1*～*3*の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 予約済のダウンロード日時を▲･▼で選び、決定を押す
❸ 画面のメッセージを読み、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

東芝サーバーからダウンロードする

● インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新します。
● あらかじめインターネットへの接続と設定が必要です。「インターネットに接続する」(準備編 54)の章をご覧ください。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「サーバーからのダウンロード開始」の順に進む

2 ソフトウェアダウンロードの確認画面で、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
● ソフトウェアのダウンロードが始まります。

3 ソフトウェア更新の確認画面で、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
● ソフトウェアの更新をしない場合は、「いいえ」を選びます。
● 「はい」を選ぶとチューナーのソフトウェア更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

4 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定を押す
● 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアバージョン」の順に進む
● ソフトウェアのバージョンが表示されます。

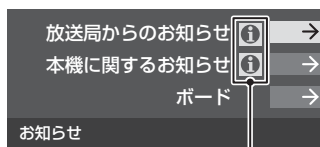
● 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
● 東芝サーバーからのダウンロードの場合、回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

お知らせを見る

- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 i が表示されます。12

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- **放送局からのお知らせ**……デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**……録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- お知らせアイコンは、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

メニュー 一覧

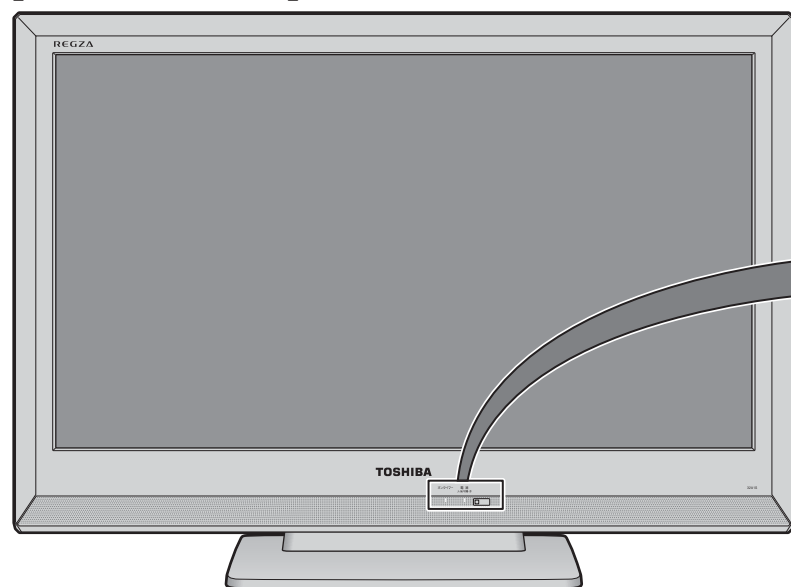
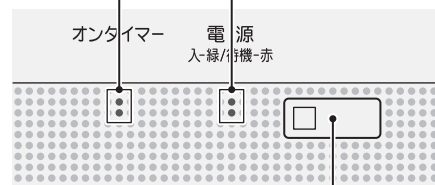
- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で説明しています)
  「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 64 ～ 65 をご覧ください。
- メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。
- 以下は、「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合のメニュー 一覧です。

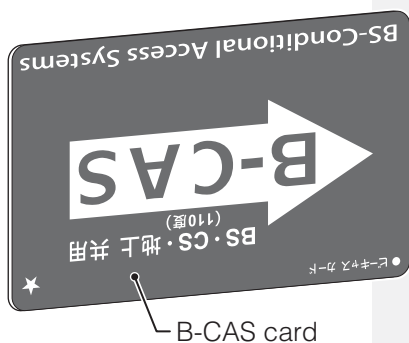
設定
つづき
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上デジタルアンテナレベル
BS·110度CSアンテナレベル
BS·110度CSアンテナ電源供給
チャンネル設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
地上アナログ自動設定
手動設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
地デジ難視対策衛星放送
チャンネル
スキップ設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
ステレオ／モノラル
無信号消音設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
B-CASカードの確認
68
ソフトウェアの
ダウンロード
57～58
放送からのダウンロード
自動ダウンロード
ダウンロードの予約
サーバーからの
ダウンロード開始
ソフトウェアバージョン
設定の初期化

メニュー一覧

その他

Basic Operations

[TV Front Panel]

● **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Left Side Panel]

B-CAS card slot

● **To view digital broadcasting programs, insert the B-CAS card into the card slot. (Without B-CAS card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

B-CAS card

Headphone jack

HDMI入力2

電源 ● **Press to turn the TV set on and off.**

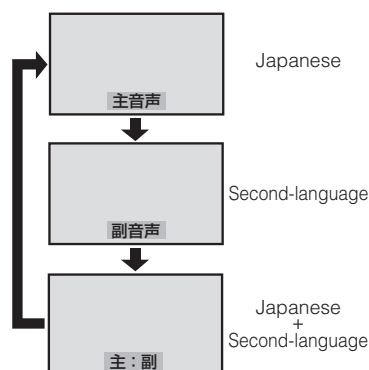
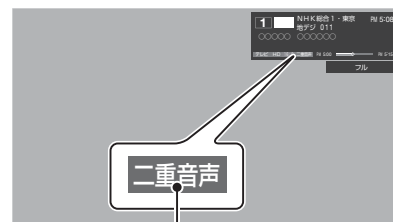
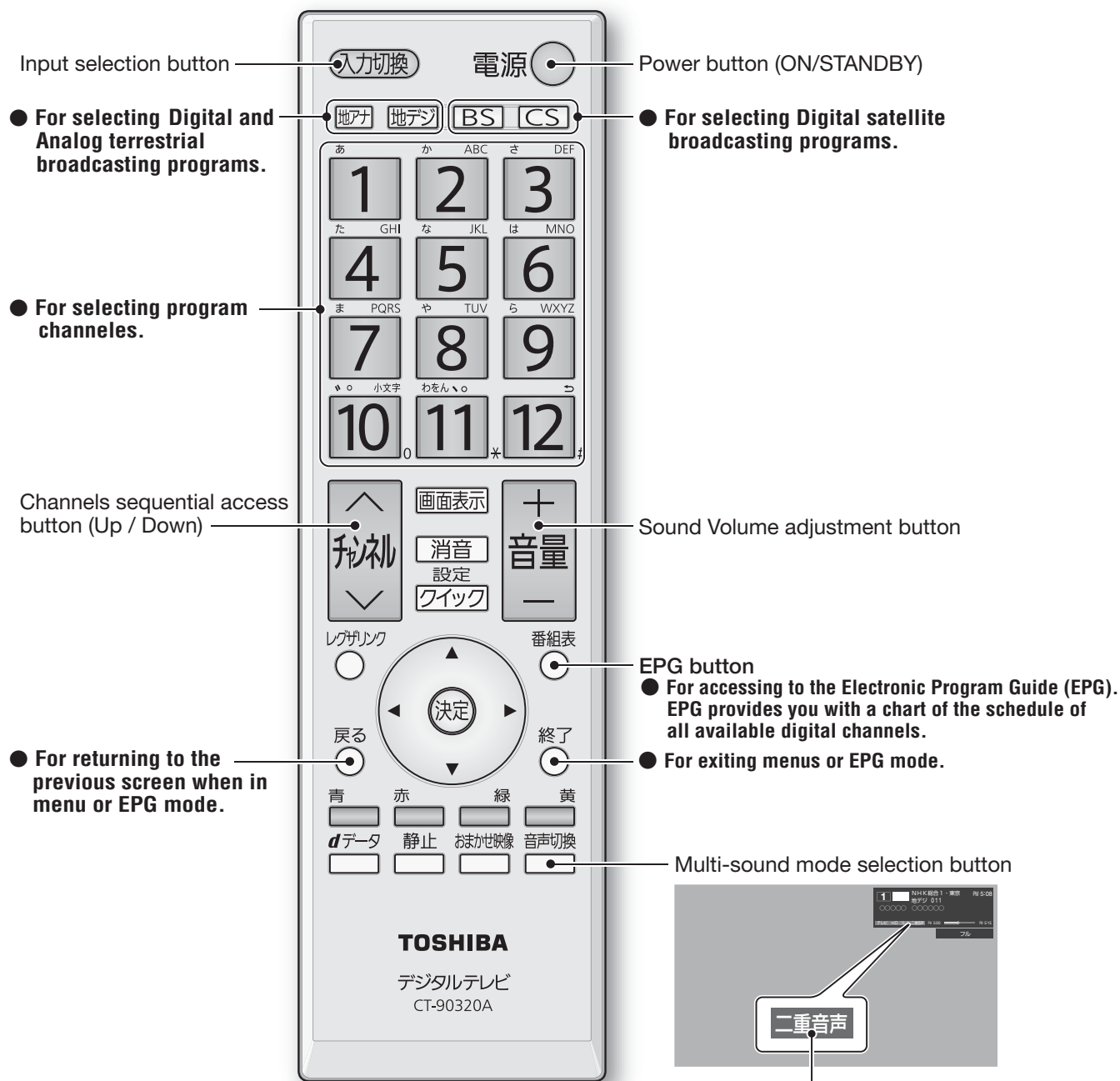
チャンネル For changing the channel position.

音量 For adjusting the volume.

入力切換 For selecting input source.

放送切換 For selecting analog or digital broadcasting.

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス(複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組)
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
16:9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
4:3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
二重音声	二重音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
字	字幕放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
i	未読の「おしらせ」	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
i	既読の「おしらせ」	デジタルコピー×	
	録画予約	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
✔	視聴予約	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
●	録画中	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
アナログコピー可	アナログ録画できます	光デジタルコピー×	
アナログコピー¥	アナログ録画できません	デジタルコピー可	デジタル録画できます
アナログコピー×			非リンク型サービス(通信番組) 13
			SSLなどの暗号通信をしている場合 13

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

● 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
● リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

その他

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、柔らかいきれいな布で軽くふき取ってください。硬い布やよごれた布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

仕様

項目		仕様
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名		32A1S
受信機型サイズ		32V
電源		AC 100V 50/60Hz共用
消費電力		108W 電源「待機」時 0.13W、電源「切」時 0.08W、(機能動作時 19W)※1
年間消費電力量［標準］時		69kWh/年
区分名		DN（FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし）
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	78.6(78.6)cm
	高さ	56.7(52.5)cm
	奥行	22.4(8.6)cm
スタンドを含む質量（ ）は本体のみ		10.0(9.2)kg
液晶画面	画面寸法	幅69.8cm、高さ39.2cm、対角80.0cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	水平1366×垂直768
受信チャンネル		地上アナログ：VHF(1 ～ 12)、UHF(13 ～ 62)、CATV(C13 ～ C63) 地上デジタル：VHF(1 ～ 12)、UHF(13 ～ 62)、CATV(C13 ～ C63) BSデジタル：BS000 ～ BS999、110度CSデジタル：CS000 ～ CS999
スピーカー		4.2cm×16cm 2個
音声出力		実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）(JEITA)
入力・出力端子	HDMI入力1、2	HDMI（DeepColor, Lip Sync） HDMI1アナログ音声入力:200mV(rms)、22kΩ以上(口径3.5mmステレオミニジャック)
	ビデオ入力1、2	S2映像※2：Y入力：1V（p-p)、75Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:200mV(rms)、22kΩ以上(ピンジャック)
	D5映像入力（ビデオ入力1）	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V(p-p)、PB/CB、PR/CR：0.7V(p-p)
	音声出力端子	音声：200mV(rms)、2.2kΩ以下(ピンジャック)
	光デジタル音声出力	トスリンク
	LAN端子	RJ-45
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω ～ 32Ω
使用環境条件		温度：0℃～ 35℃、相対湿度：20%～ 80%（結露のないこと）
付属品		「付属品」(準備編 5)をご覧ください。

※1：電源「待機」時または電源「切」時に番組情報を取得しているときの消費電力です。
※2：S2映像入力端子はビデオ入力2に装備しています。

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ（32Ｖ）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

その他

ライセンスおよび商標などについて

● HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI、MDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

● トスリンクは東芝の登録商標です。

● この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

その他

B-CASカードの確認

● B-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認するには、以下の操作をします。

1 クイックを押す

2 ▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「B-CASカードの確認」の順に進む

● B-CASカードの状態確認結果が表示されます。

B－CASカードの確認	
	状態
B－CAS	正常に動作しています。

3 決定を押す

● B-CASカードの情報が表示されます。

B－CASカードの確認	
カード識別番号	XXXX
カードＩＤ番号	XXXX－XXXX－XXXX－XXXX－XXXX
グループＵＤ番号	

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

さくいん

さくいん つづき

ほ

ま

み

め

も

ゆ

ら

り

れ

ろ

わ

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

メモ

形名		製造番号	

形名と製造番号は、保証書または本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

● 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	32A1S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時にご注意願います

● 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

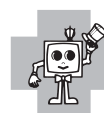
ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 **東芝**

ビジュアルプロダクツ社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

TD/D1　VX1A00194100

©TOSHIBA CORPORATION 2010